

国立大学法人

群馬大学

GUNMA UNIVERSITY

大学案内

2023



群羊を抜け 駆ける 世界を

GUNMA UNIVERSITY CAMPUS GUIDE 2023



「群を抜け 駆ける 世界を」とは？

群馬大学で思いきり学び、経験し、地域から世界に飛び出してほしいという、学生への想いを込めたキャッチコピーで、2018年から発信しています。何かを気にすることなく自ら決めた道で目指す学問を追い、どこまでも伸び、どんどん抜き込んで良い。疾走する馬のような勢いと真っ直ぐさを持って、地域から世界を駆け回る人材を育てたいというイメージです。

CONTENTS

- 02 TOPIC1 アドミッションセンター 誕生!
- 06 TOPIC2 「超小型人工心臓」で命を救いたい
- 08 TOPIC3 データサイエンス教育
～これからの社会に必須なスキルを修得～
- 09 TOPIC4 新型コロナウイルス感染症に伴う
学生支援の取り組み(2020年度～2021年度)
- 10 —— 荒牧キャンパス キャンパス情報
- 12 共同教育学部
- 14 共同教育学部在学学生・先輩 Interview
- 16 情報学部
- 18 在学学生・先輩 Interview
- 20 荒牧キャンパス施設情報
大学会館/国際センター/次世代モビリティ社会実装研究
センター(CRANTS)
- 22 総合情報メディアセンター(中央図書館/情報基盤部門)/
数理データ科学教育研究センター/
食健康科学教育研究センター

- 24 —— 昭和キャンパス キャンパス情報
- 26 医学部医学科
- 28 医学部保健学科
- 30 医学部在学学生・先輩 Interview
- 32 昭和キャンパス施設情報
生体調節研究所/医学部附属病院/重粒子線医学センター
- 34 —— 桐生・太田キャンパス キャンパス情報
- 36 理工学部
- 38 理工学部在学学生・先輩 Interview
- 40 桐生キャンパス施設情報
機器分析センター/マシンショップ/総合情報メディアセンター(理工学
図書館/情報基盤部門)
- 42 GFL(グローバルフロンティアリーダー育成プログラム)
- 44 海外留学 海外研修プログラム/協定校情報
- 45 学生サポート
学生支援センター/健康支援総合センター/障害学生サポートルーム/
キャリアサポート室
- 47 学生広報大使の取り組み OPEN CAMPUS
- 48 学生寮
- 50 入試日程
- 51 群馬へのアクセス/群馬大学の歩み

GUNMA UNIVERSITY WEB SITE

▶▶ 群馬大学公式 HP <https://www.gunma-u.ac.jp/>



▶▶ 受験生応援サイト <https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/>



『お前はまだグンマを知らない』とは？

漫画家・井田ヒロト氏による作品で、『月刊コミック@バンチ』(新潮社)のウェブコミック配信サイト『くらげバンチ』にて2013年10月から2019年5月まで配信。2017年に間宮祥太朗の主演でドラマ化および映画化、2018年にはテレビアニメ化され、スマートフォンアプリのゲーム「お前はまだグンマを知らない名産品編」もリリースされた。略称は「おまグン」。群馬大学では2018年から「お前はまだグンダイを知らない」としてコラボを開始し、YouTubeのCM動画などで大学のPRを行っている。

©井田ヒロト/新潮社



アドミッションセンター誕生！

「入試」「高大連携」「学生募集広報」を3本柱に

群馬大学では2022年4月、高校対応の拠点となるアドミッションセンターを設立しました。アドミッションセンターは、入学者選抜方法の企画及び立案、入学者選抜の円滑な実施、入学者選抜の改善に係る分析及び調査、入学者選抜に係る情報の適正な管理並びに高大連携及び学生募集広報の推進を図ることを目的として設置された運営組織です。



(左から)板橋英之アドミッションセンター長、石崎泰樹学長、林邦彦理事

将来のビジョン

いま世界は、AIやロボットが活躍する新たな時代を迎えています。この流れは今後ますます加速していくことでしょう。AIに負けない人材を育成するには、0から1を生み出すことができる問題発見能力や創造力が必要です。そのためには、多様な考え方、バックグラウンドを持った学生を獲得することが重要となります。

こうした時代背景の中で、アドミッションセンターは高等学校との連携機能をさらに強化し、新しい時代にふさわしい高大連携の実現に向けた大学入学者選抜改革を推進し、優秀な学生の獲得を目指します。

具体的なミッション

アドミッションセンターのミッションは、以下となります。

- (1) 入学者選抜方法の企画、立案及び改善に関すること。
- (2) 入学者選抜（大学入学共通テストを含む）実施に係る総括に関すること。
- (3) 入学者選抜の結果の分析及び評価に関すること。
- (4) 入学者選抜に係る調査及び研究に関すること。
- (5) 入学者選抜に係る情報の保護、管理及び開示に関すること。
- (6) 入学者選抜に係るリスクマネジメントに関すること。
- (7) 高大連携活動の企画、立案及び実施に関すること。
- (8) 学生募集広報活動の企画、立案及び実施に関すること。

(1)～(6)の入学者選抜に係る事項について、本学では一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生選抜等、数多くの種類の入学試験を実施してきました。多岐にわたるこうした入学者選抜の実施もさることながら、多様で優秀な学生を獲得するための入試方法の企画・立案・改善もアドミッションセンターの活動内容の中核となります。そのためには学内の各部局との緊密な連携が必要であり、かつ、入学試験運営の全体を見渡す役割も必要になります。また、入学者選抜に係る情報の保護や管理等も必要になります。さらに、入学者選抜の結果の分析をはじめとして、高校と大学の接続の在り方の調査、入学者の入学後の成績等の追跡調査といった研究機関としての機能もこれまで以上に必要になるでしょう。中でも多様な考え方やバックグラウンドを持った学生を迎え入れるための入学者選抜制度の開発・設計はアドミッションセンターにとって大変重要な役割です。



(7)の高大連携活動については、これまでも大学訪問（高校生が本学を訪問し、授業などを受ける）、模擬授業（本学大学の教員が高等学校を訪問し授業などを行う）を実施してきましたが、今後は多様な学生を獲得するため、高等学校等の依頼・要望（高等学校必修科目「探究の時間」の支援など）に対応することにより、高等学校との連携を強化していきます。(8)の学生募集広報活動については、本学の学部・学科等の中身や各種の入学者選抜の内容について、高校生をはじめとする関係者に周知・広報を図る取り組みも重要です。具体的には、主に高校生対象にはオープンキャンパス（7月～8月）の開催、在学生広報チーム「学生広報大使」によるトークライブや動画配信、高校教員対象には入試説明会（6月）



の開催、そして大学案内の制作を行っています。今後は本学で取り組んでいる研究内容も積極的に発信していきます。

アドミッションセンターは、前述した入学者選抜及び高大連携・学生募集広報活動の業務を俯瞰的に捉えて、Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善）のサイクルを回す機能も担っています。

アドミッションセンターの連絡先

代表メールアドレス ▶ gundai-adcen@ml.gunma-u.ac.jp

入試に関するお問い合わせ

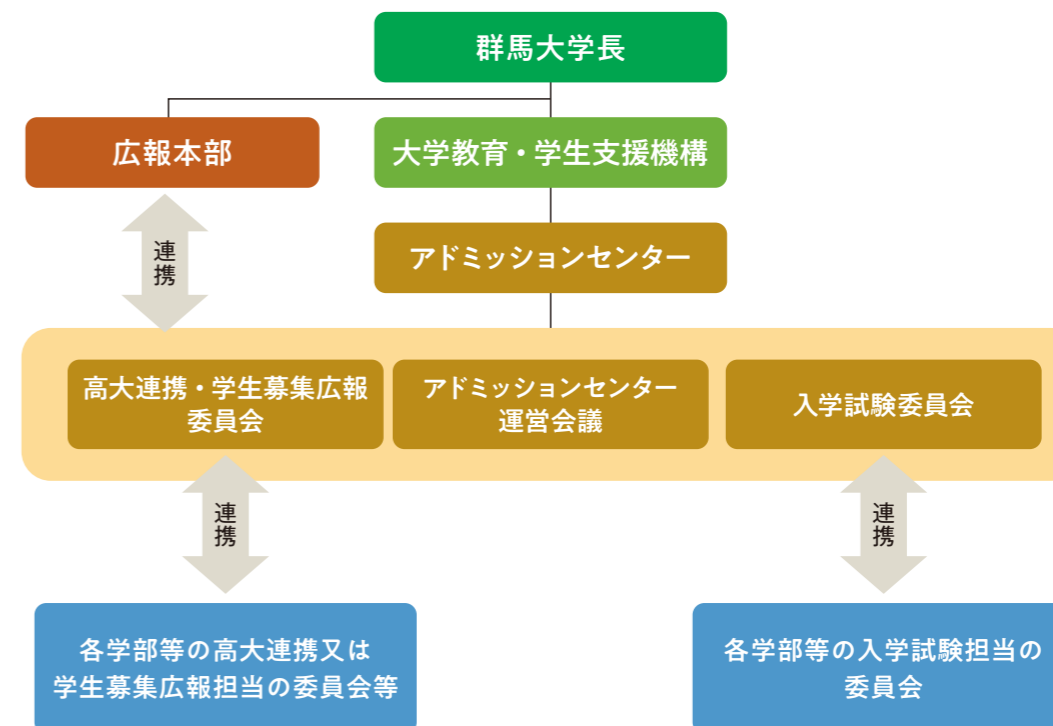
027-220-7150・7151・7152
g-admission@jimu.gunma-u.ac.jp

高大連携・学生募集広報に関するお問い合わせ

027-220-7154

アドミッションセンターメンバー

- アドミッションセンター長
- アドミッションセンター副センター長（入試方法開発・分析担当）
- アドミッションセンター副センター長（高大連携・学生募集広報担当）
- アドミッション・コーディネータ



多様な人材の『アドミッション』に

～センター長インタビュー～



群馬大学アドミッションセンター長

いたばし ひでゆき

板橋 英之 副学長

Profile

群馬県桐生市出身、群馬大学工学部卒業。
筑波大学大学院博士課程修了。理学博士。
筑波大学助手、群馬大学助手・助教授を経て2004年から教授。
2009年から2013年まで工学部長・大学院工学研究科長。
2021年から副学長。
2017年に群馬大学発ベンチャー「株式会社グッドアイ」を設立し、同社取締役会長も務める。
趣味は野球観戦で、人生で最も影響を受けた人物は大学時代の恩師・赤岩英夫先生（第9代群馬大学長）。「人生の価値は積分値（面積）で決まる」をモットーにしている。

「問題解決」だけではAIに勝てない

今まで世の中にはたくさんの課題があったので、それを解決するというのが社会の使命でした。しかし、これからは問題さえ見つかっていればおそらくAIが解決するでしょう。過去から現在までの膨大な解決の歴史をAIに入れ込めば、彼らが学習して彼らの方が早く答えを導くことができます。これ

からの時代は課題を解決するよりも新しい課題を見つける、発見する。つまり、0から1を生み出すような人材が必要になってきます。

そうすると、今までと同じような教育をしてはダメだし、なおかつ同じような考えやバックグラウンドを持った人たちだけがいてもダメです。やはり新しいものを生むためには、いろいろな人たちのかけ算、多様なアイデアを持った学生たちのかけ算が必要になってくる。

そのためには、多様な人たちに入学してもらう仕組みが必要です。

そこで、多様な人たちに入学してもらうにはどうしたら良いか、その仕組みを真剣に考える組織としてアドミッションセンターを設置しました。

「高大連携」「学生募集広報」も持つ強み

群大アドミッションセンターは「入試」だけでなく「高大連携」と「学生募集広報」の機能も担っています。多様な学生が入学するためにはまず「群馬大学に行きたい」という学生を増やさなければなりません。そのためには、「群馬大学ではこんな教育・研究をしています」「群馬大学に入学するとこんなに良いことがあります」というのをきちんと説明する必要があります。このセンターの設置により、今までは学部ごとにあった高校に対する窓口を一本化して、全学体制で群馬大学の魅力を発信できるようになります。

また、これからは「高大連携」がとても重要になると考えています。問題発見型の人材を育成するためには、できるだけ早い段階から豊かな発想を引き出す教育を行う必要があり、高校では「総合的な学習（探究）」の時間で生徒全員が探究活動をするようになります。しかしこれまで多くの高校では「探究」という取り組みを行ってきませんでした。一方大学では、卒業研究や修士・博士研究を通して日常的に探究活動を行っています。そこで高校と大学が連携すれば、高校での探究活動がより充実したものになり、生徒も将来自分がやりたいことが見えてくるはずで、また、探究活動を通して「群大には面白い研究をしている先生がいる」ということを知ってもらい、大学の方でも「こんな探究活動に取り組んでいる生徒がいる」ということを知ることができる。高校の先生とも密に情報交換ができるようになります。

目線は「外」へ

これからは、「将来、社会で活躍したい」という思いを持っている受験生に「群馬大学に来れば実現できる」というメッセージをどれだけ届けられるかというのが極めて重要であると思っています。アドミッションセンターは、より多様な学生が入学できるように入試のシステムなどを考えていきますが、それだけではなく高校時代にどんな活動をして、どんな入試を経て入学した学生が、大学でどんな活動をして社会に出てどんな活躍をしているかを追跡して高校にフィードバックする。そうすることで、高校の先生も「こんな資質を持っている生徒が群馬大学に進むとこんなに伸びるんだ」というようなことが分かって、自信を持って進学指導ができるようになります。高校の生徒や先生と一緒に進路や将来について考える、そういうセンターを目指しています。

私も積極的に高校に出向いて群馬大学の魅力をどんどん発信していくつもりです。可能であれば直接生徒にも会って話をしたいと思っています。

自分の学びたいこと、研究したいこと、実現したい未来のこと、「群馬大学ならそれができるので選びました」と、一人でも多くの受験生に言ってもらえるように、我々はどうも外に出て行きます。それが群馬大学アドミッションセンターの大きな特徴です。

プログラミング教育を充実

群馬大学の魅力、まずは立地でしょうか。若者にはやはり都会的な刺激は必要だと思います。群馬大学は都会に近い。それに加えて自然がある。これからAIに勝つためには感性が必要です。感性は自然の中にとっても伸びます。感性を伸ばすことができる自然がすぐ近くにある。恵まれた環境の中で教育と研究に励むことができます。これが群馬大学の一つの魅力といえます。

次に教育です。これからはパイソンなどAIで使われている言語を使ったプログラミングを理解することがとても重要です。群馬大学では、「数理データ科学教育研究センター」が中心となってプログラミング教育システムを開発し、全学部の学生が必修で学んでいます。これは将来どんな分野に進んだとしても、AIが何をやっているのか、AIで何ができるのかを理解していれば、活躍の幅が広がるからです。例えば医学の分野でも、画像診断などAI技術が使われている分野が増えてきていますが、プログラミングを理解していれば、AI技術と自分の経験を融合させた新たな診断方法を作り出すことも可能です。

また、文理融合教育も特徴といえます。理系の進路を進ん

できた学生が文系の生徒と交流することで今までにない社会の考え方やニーズを知り、解決のためにプログラミングを応用するというようなことも期待しています。

「0から1」生み出す

大学に入学して「挑戦したい」という学生の気持ちをどんどん大きくするのが、大学の一つの役割だと思っています。単に知識を与えるだけならネットを見れば何でも出ています。そうではなく、将来この分野で活躍したいというやる気を起こさせる教育を展開することが重要だと思います。

今の学生は心に火をつけてあげれば絶対に伸びます。その機会がないと社会に出てからもチャレンジしないまま、つまらない人生になってしまうのではないのでしょうか。これからの時代は言われたままの仕事をやるのであればAIができてしまいます。AIにできない0から1を生み出す人材を育てるのが大学の役割です。群馬大学に入学すればワクワクする“気”が身体に入ってきて、挑戦するマインドも出てきて、必ず、幸せな楽しい人生が送れる。私がそうなので。(笑)

群大でチャレンジを

私のモットーは「人生の価値は積分値で決まる」です。人生は成功するとプラスの方に膨らむイメージがあると思います。逆に失敗するとマイナスの方に膨らむイメージ。でも積分、つまり面積を求めると必ずプラスになります。マイナスの面積、というのはありません。マイナスの方に膨らんだとしても積分するとプラスになる。失敗は決してマイナスではありません。一方、何もしていないと一直線で膨らまないで面積が出ない。その人がその時代に生きた価値が出ません。挑戦して初めてプラスになったり、マイナスになったりして、積分値が大きくなって、最終的にはこの人生楽しかったな、と思えるんです。従って、高校生にはとにかくチャレンジ、行動してほしい。群馬大学に入学して、いろいろなことに挑戦して、積分値の大きな人生を歩んでほしいと思います。



「超小型人工心臓」で命を救いたい



くりた のぶゆき
栗田 伸幸

群馬大学 大学院理工学府
電子情報部門 准教授

Profile

山形県出身。
2006年に茨城大学博士号取得。
2006年4月から2009年3月都城工業高等専門学校機械工学科助教。
2013年7月から2014年3月 Texas Heart Institute (アメリカ・テキサス州) で Senior Researcher として磁気浮上型完全置換人工心臓の研究に携わる。
2017年9月から2018年3月 Johannes Kepler University で客員研究員として磁気浮上モーターの研究。
2016年9月から群馬大学准教授

クラウドファンディングについて

薬での治療が難しい重度の循環器の患者さんを救うためには心臓移植が有効ですが、ドナーが見つかるまでには長い時間が必要です。特に小児の心臓移植はドナーが少なく、移植を待つ時間も長くなります。小児用人工心臓は事業化が難しく開発が遅れています。ドナーを待つ間も安心して過ごせるように超小型磁気浮上モーターを用いた、長期間使用できる耐久性に優れた小児用体内埋込型人工心臓の開発について、クラウドファンディングを実施しました。59日間で760名の方から総額30,980,000円のご寄附をいただきました。

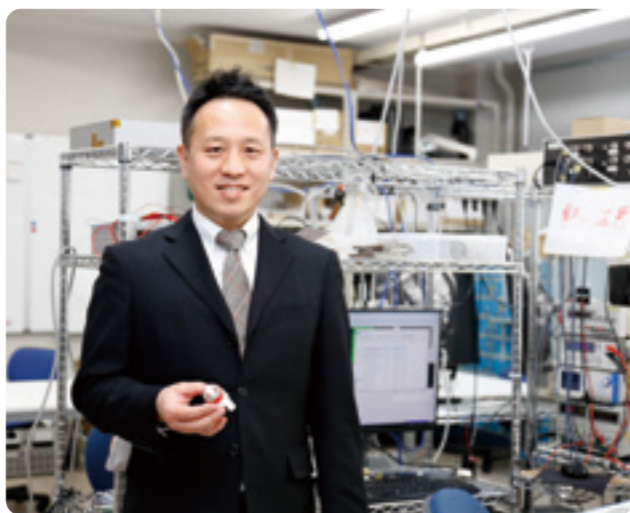
夢ナビライブで栗田准教授の「ミニ講義」を体験しよう！

<https://talk.yumenavi.info/archives/2477?site=p>



栗田研究室 @ 群馬大学電子情報部門 HP

<https://sites.google.com/gunma-u.ac.jp/nkurita/>



群馬大学初のクラウドファンディング

小児用超小型人工心臓

今回のクラウドファンディングは磁気浮上技術を用いた小児用の人工心臓の開発が目的です。群馬大学としても大きな取り組みと捉えていただき、医学部との連携や広報活動をはじめ、強力な布陣で臨みました。失敗できないという覚悟でスタートしましたが、当初目標を大幅に上回るスピードで目標額を達成することができました。

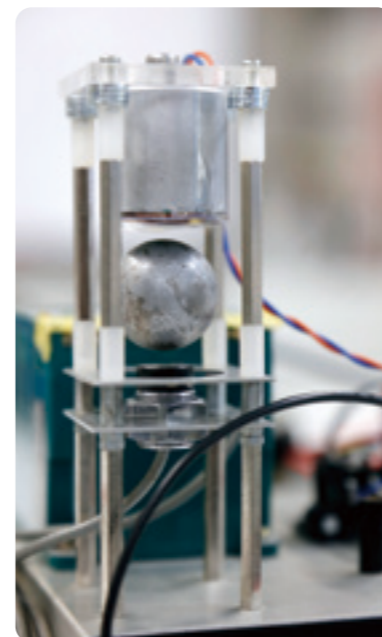
磁気浮上技術とは、リニアモーターカーなどにも使われている磁気力を使ってモノを浮かせる技術です。浮かせることで擦れる部分が無く摩擦がとて少なくなります。扇風機のかごの中でプロペラだけが浮いて回っているイメージです。電磁石とモーターの組み合わせで永久磁石を作り、これを上手く利用すれば人工心臓に応用することができます。ゴミなども入らず、擦れる部分が無いので、小型で、かつ血液のダメージが非常に少ない人工心臓を作ることができます。大学の研究は、アイデアを基にアイデアを実証するための装置を製作し、論文を書くことによって目標を達成したということになります。ただ、その後実際のモノを作るというのはとても長い時間や資金、多くの人の協力が必要になります。人工心臓を作るためには長い道のりがあるんです。今回のクラウドファンディングによって、想いに賛同してくれる方や実際に人工心臓を必要としている方との距離感が近くなりました。磁気浮上技術を必要としている大勢の方とつながりが持てたということが非常に良かったことだと思っています。

小さい頃からものづくりは好きでした

モーターにもともと興味があって、ミニ四駆などが子どもの頃から好きでした。高校は普通高校でしたが、ものづくりへの興味と、文系よりは理系が好きだったこともあって、何となく工学系に行くのかな?とっていました。その時はそれほど強いモチベーションがあったわけではありませんでした。大学4年生で入った研究室が磁気浮上技術を利用した産業用機器の開発などをテーマにしていました。モーターやバルブを電磁駆動にしたり、電磁力を使って振動を抑制したりする装置の開発をしていました。純粋に自分のアイデアで自分のやりたいことをカタチにする、そしてそれを持って世界と対等に勝負できる。「これは楽しそうだな」「先生のようなことをやりたい」と思って、研究室に入ってすぐ「博士になりたい」と担当教授に言いました。これが研究者への入口です。磁気浮上技術というのは機械工学や電気工学などのように単一の学問ではなく、複合的な分野です。幅広い知識を必要とする磁気浮上という研究テーマは自分に合っていたのかもしれませんが。大学時代にその先生に出会っていなければ今の自分はこの研究に取り組んでいないと思います。

研究テーマが「夢」に

大学時代から磁気浮上技術の人工心臓への応用の先行研究は知っていましたが、当時は一つの研究テーマとして受け止めていただけでした。しかし、研究室にいた交換留学の同級生が磁気浮上技術で人工心臓を作るという確固たる夢を持っていたため、一緒に研究を始めました。そんな時、ある学会に行き、心臓外科医の先生と、実際に人工心臓を埋めている人が話をしている場面に出会いました。人工心臓



によって命を支えられている人が、自分に人工心臓を埋めて命を救った医師と話をしている。「私が作ろうとしているのは命を直接救う装置なんだ」とすごく感動しました。「いつか自分が開発した人工心臓を埋め込んだ人と話したい」と思うようになりました。人工心臓は医学にかかわる分野の研究です

が、効率良く血液を送り出すポンプを作ることから始まります。今後は血液をどう扱うかが重要になってきます。医師とタッグを組んでやっていかないとはいけません。群馬大学では医学部の人工心臓埋め込み手術の経験豊富な先生のアドバイスをいただけます。理工学部内でも機械工学の分野、材料に関する知識などについても他の分野の先生方と相談できます。とても良い環境ですね。

大学で自分の武器を身につける

私自身は山形出身ですが、群馬が大好きです。この記事を読んでいる群馬県以外の高校生には「本当に群馬はオススメだよ」と言いたいです。群馬は都心にも近く、適度に都会で適度に田舎で天災が少なく住みやすいため、学問をする上ではちょうど良い最高の環境だと思います。それに、群馬県民は情にあつく、人と人とのつながりをとても感じます。今の環境に出会えたのはラッキーでした。

群馬大学の強みの一つは、医学部があることではないでしょうか。また、理工学部には世界的に功績のある先生方がたくさん在籍しており、理工学部と医学部の共同研究も多いです。他大学と比較すると各研究室所属の学生の数が少なく、指導体制が万全なので、学生の質は非常に高いと思います。群馬県内には群馬大学の学生に就職してほしいという企業が非常に多くあります。高校生の皆さんには群馬県内の企業についても是非興味を持ってほしいです。

自分が伸びていくためには好きであることが重要です。自分の「これおもしろそうだな」というものを見つけてほしい。将来必要になる自分のツールを身に付けるというモチベーションで勉強すれば、その背景にある意味を理解することができる。そうすると成績も良くなるし、ツールが身に付く。そのツールが武器になります。受験は自分の将来をステップアップさせるために利用できる良い機会となります。群馬大学はとても良い場所だと思います。是非、群馬大学に来てください。



データサイエンス教育 ～これからの社会に必須なスキルを修得～

社会的な背景

これからの情報を基盤とした社会においては、数理・データサイエンス等の基礎的な素養を備え、大量のデータを正しく扱い、新たな価値を創造する能力が必要となっていきます。基礎及び応用科学はもとより、特にその成果を開発に結び付ける学問分野においては、数理・データサイエンス等を基盤的リテラシーと捉え、文理を越えて共通に身に付けていくことが重要とされています。

群馬大学は、文部科学省が進める「大学の数理・データサイエンス教育強化」の協力校に選定されたこれまでの実績により、北関東唯一の数理・データサイエンス分野専門の「数理データ科学教育研究センター」を設置しました。このセンターが中心となって、**2020年度から、全ての学部新入生（1年生）の必修科目として「データ・サイエンス」を開設**しました。

文理を越えた数理・データサイエンスに係るリテラシーの涵養と基礎的能力の充実を図ることを目的とし、社会において実践的に活躍するための数理的思考力を持った人材の育成を進めています。

「データ・サイエンス」はこんな授業です。

コンピュータの仕組み、Excelの使い方、ネットワークとサービスを学んだ上で、最終演習として実際に生きたビッグデータを用いてのデータを分析します。

※2021年度の最終演習問題

「過去3年間のプロ野球12球団全ての1球ごとの膨大な対戦データ（データスタジアム株式会社より提供）」を用いて、以下の演習問題を提出せよ。

- 演習問題「このデータを用い、わくわくする分析をなさい。必ず分析の目的を述べ、分析の過程もなるべく示しなさい（例：お祭り男を探せ（1本ヒットを打つと、以後同じ試合内では打たない場合より打率が一定以上を上げる選手を探す）」

「データ・サイエンス」を学ぶと こんなことができるようになります。

- コンピュータやインターネットの基本的仕組みと適切な利用の仕方を理解することができる。
- データを取り扱うために必要なパソコン、アプリの操作ができる。
- Excelを用いて、データが持つ性質について把握することができる。
- 統計データを適切に処理することができる。
- 簡単なプログラミングができる。



- 群馬大学の「データサイエンス教育」文科省の認定プログラムに！県内唯一

群馬大学の教育プログラムが、2021年8月4日付けで文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定（有効期限：2026年3月31日まで）されました。この認定教育プログラムは、全国で78件認定されており、本学の認定教育プログラムは群馬県内で唯一（※2022年3月現在）のプログラムです。

新型コロナウイルス感染症に伴う学生支援の取り組み（2020年度～2021年度）

群馬大学では、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済的に困窮した学生等に対し、多くの皆様からご協力いただいた「群馬大学基金」等を活用し、以下のとおり、学生支援の取り組みを行いました。

その1 奨学金給付等事業

● 緊急学生支援奨学金給付 大学独自(基金+大学経費)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会情勢等の変化により、困窮状態にある学生に対する緊急支援のため、返済を要しない緊急学生支援奨学金を給付しました。

▶【2020年度】5万円を約950人に給付（総額 約4,750万円）

▶【2021年度】5万円を約115人に給付（総額 約575万円）

● 入学料免除、授業料免除等 文部科学省支援

● 大学院生への奨学金給付 大学独自(基金)

経済的困窮度が高く、意欲と能力のある大学院生に修学支援

金を給付しました。

▶20万円を年12人に給付（2年間で総額 240万円）

● 学びの継続のための『学生支援緊急給付金』

文部科学省支援

● 「JASSO助成事業」を活用した学生の食に対する支援 JASSO+大学独自(基金)

大学生協とタイアップし、生協食堂専用電子マネーを1人あたり、5,000円チャージ。

▶5,000円を464人に給付（総額 232万円）

その2 オンライン授業サポート事業

● 学生のオンライン授業受講環境整備支援

大学独自(基金)

オンライン授業を受講するための環境を新たに整備した学生に対し、経済的な支援を実施しました。

▶1万5千円を約770人に給付（総額 約1,150万円）

● オンライン授業に伴う通信機器(PC等)の貸出し 大学独自

PCやネットワーク環境が準備できない学生には、機器の貸し出しを実施しています。

▶PC 105台・ルーター75台を貸出し

● 遠隔授業等の環境構築事業 文部科学省支援

その3 その他サポート事業

● オンライン相談会の実施 大学独自

(健康支援総合センター・学生支援センター)

学生の心身の健康の保持増進を図ることを目的とする健康支援総合センター及び学生生活・就職活動に対する支援、修学に係る相談等を行っている学生支援センターにおいて、両センター所属の教員が、学生の心身、人間関係や勉学など修学にまつわる悩みについて、オンラインによる相談会を実施しました。

● セルフケアセミナーの実施(健康支援総合センター)

大学独自

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、思い描いていた学生生活が過げず、ストレスや孤独を感じている学生が多く見受けられるため、こころの健康を自分で管理できるようになるためのセルフケアセミナーを実施しました。内容は「自分で自分の気を高めてみよう」「考え方のクセを変えられる?」「本当に伝えたいことって、どうやったら伝わるの?～コミュニケーションとは～」など5回のシリーズで構成されています。セミナー録画を学内ポータルサイトに掲載して、いつでも繰り返し視聴できるようにしています。

● 学生寮の感染防止対策環境整備 大学独自

学生寮における新型コロナウイルス感染防止対策として、アルコール消毒液、除菌スプレー、サージカルマスク等を購入し、寮内の環境を整備しています。

● 国費外国人留学生受け入れサポート

国費外国人留学生については、入国の際、14日間の宿泊施設等での待機が必要となることから、これにかかる食事代等の滞在諸費用を補助しました。

文部科学省支援+大学独自(基金+大学経費)

● 新入生に対するオンラインサポート 大学独自(基金)

新入生に対し、2年生以上の学部学生がサポーターとして、Zoomによるオンラインサポートを実施しました。2年生以上のサポーターには、大学業務への協力による謝金を支給しました。

▶5日間実施 新入生 108名参加 ▶2年生以上 21名参加

● 動画配信やZoomを使用した就職支援の実施 大学独自

就職ガイダンスをライブ配信や収録動画で配信し実施しています。就職相談は、Webカウンセリングとして実施しています。

▶就職ガイダンス 25回 参加延べ人数 約1,900名

▶就職相談 167日 相談延べ人数 約660名

● 聴覚障害学生に対する情報保障サポート 大学独自

聴覚障害学生に対する情報保障に必要な機器類（iPad、スピーカー、ヘッドホン、オーディオ変換ケーブル等）を整備し、オンライン授業における情報保障を実施しています。

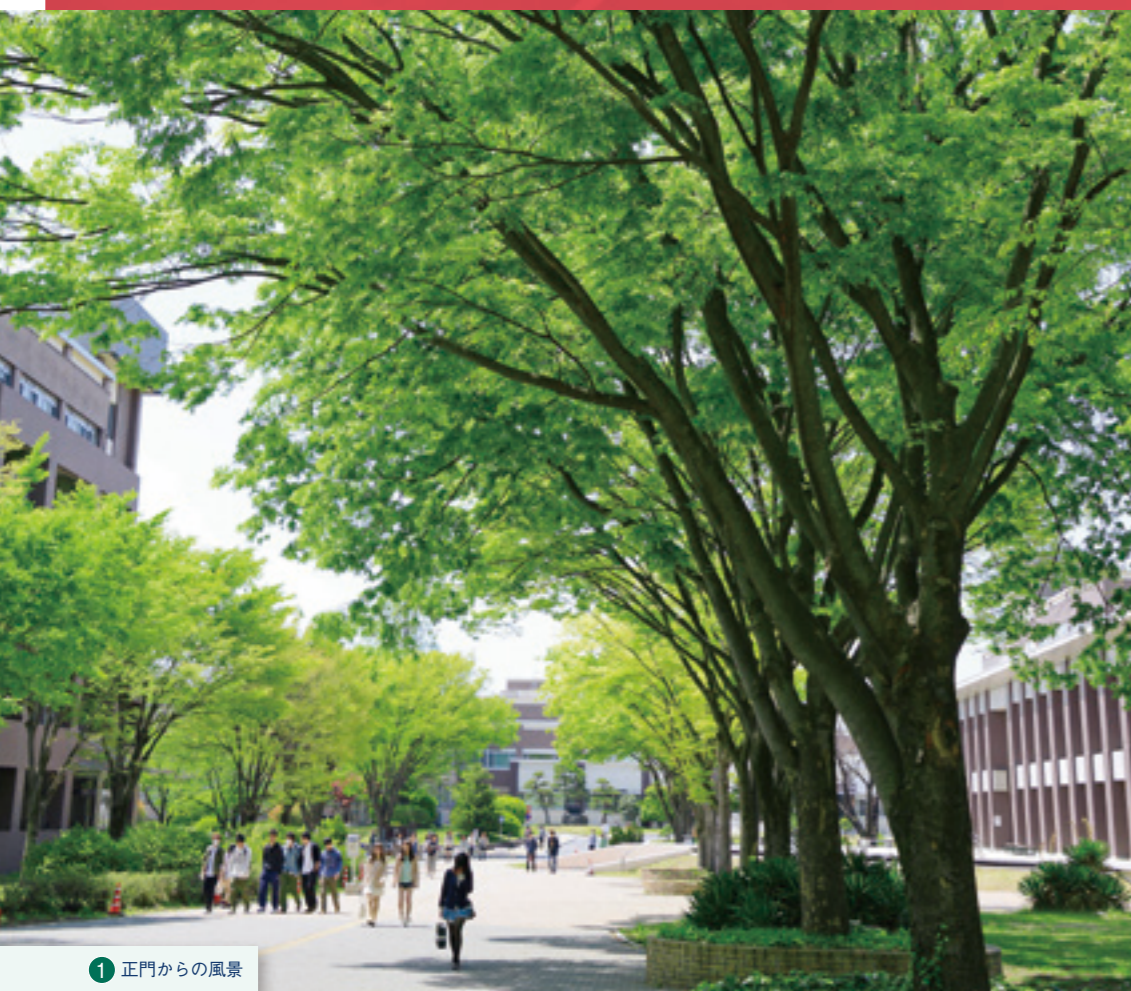
Aramaki Campus

荒牧キャンパス

群馬県前橋市荒牧町4-2

共同教育学部・情報学部（社会情報学部）の全学生と初年次教育を学ぶ医学部・理工学部の学生（1年次）が通うキャンパス。

※全学部1年次は荒牧キャンパスに通います



1 正門からの風景



6 11号館
(次世代モビリティ社会実装研究センター)



7 大会館
(国際センター・多目的ホール・学生食堂・売店・アトリウムラウンジ)



8 10号館
(情報学部・社会情報学部の校舎)



- 電車** ● JR両毛線にて前橋駅下車、北方へ8km
- バス** ● JR前橋駅北口2番乗り場（関越交通バス）
● 群馬大学荒牧校由渋川市内循環渋川駅行、小児医療センター行「群馬大学荒牧」下車（所要時間約28分）
● 渋川駅行、渋川市内循環渋川駅行「前橋自動車教習所前」下車（所要時間約25分+徒歩10分）



2 総合情報メディアセンター
(中央図書館/情報基盤部門)



3 1号館
(大学教育・学生支援機構(学生センター))



4 6号館
(共同教育学部校舎)



5 課外活動施設



9 キャリアサポート室



10 健康支援総合センター



11 馬場



荒牧
キャンパス
Aramaki Campus

Cooperative Faculty of Education

共同教育学部

全国初の共同教育学部 群馬の教師教育の拠点

共同教育学部は、小学校、中学校、高等学校、幼稚園および特別支援学校等の教諭を目指す人が学ぶ学部です。小・中・高・幼・特別支援等の中から複数の教員免許状を取得できます。学校教育に対する多様な要求に対し、柔軟かつ効果的に応えられる高度な専門的知識・技術と豊かな人間性を身につけた教育者の養成を目的としています。1年次から4年次まで、学校現場に触れる教育実習関連科目を用意しています。

▶ 共同教育学部 HP

<https://www.edu.gunma-u.ac.jp/>



系	専攻	概要
人文社会系	国語専攻 ■ 社会専攻 ■ 英語専攻	各教科の専門的知識や小学校・中学校の教科指導法について修得します。
自然科学系	数学専攻 ■ 理科専攻 ■ 技術専攻	
芸術・生活・健康系	音楽専攻 ■ 美術専攻 ■ 家政専攻 ■ 保健体育専攻	教育学・教育心理学の専門的知識や小学校の教科指導法について修得します。
教育人間科学系	教育専攻 ■ 教育心理専攻 特別支援教育専攻	
		特別支援教育の基礎理論、聴覚障害児、肢体不自由児、病弱児の心理・生理・病理や指導法、重複障害などについての専門的知識を修得します。

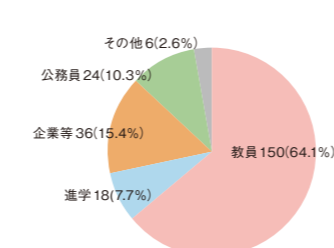
取得できる教員免許状

- 1種免許は基礎資格(免許状を取得するために必要な資格)が学士(大卒以上)で、2種免許は準学士(短大卒等)になります。1種免許は、2種免許より単位を多く修得しなければなりません。
- 公立の小・中・高・特別支援学校に採用されるには、各都道府県の教育委員会が実施する教員採用試験に合格する必要があります。本学部では、学生が教員採用試験に合格するように対策講座や面接指導などのきめ細やかな支援を行っています。

専攻	特別支援教育専攻	
	特1種・小2種コース	特1種・中2種コース
卒業時	●小学校1種 ●中学校1種(専攻教科)	●小学校1種 ●中学校2種(1教科)
他に取得可能な免許	●中学校2種(他教科) 又は 特別支援学校2種 ●高等学校1種 ●幼稚園1・2種	●幼稚園1・2種 ●中学校1種(中学校2種と同じ教科) ●特別支援学校2種 ●高等学校1種

▶▶ 共同教育学部

卒業生数 234 (2020年度) 単位:人



群馬県公立学校教員採用試験の校種別結果と占有率

	2022年度採用		
	全合格者数	群大教育学部合格者数	占有率
小学校	110	15 (4)	13.6%
中学校	190	92 (19)	48.4%
特別支援学校	51	17 (5)	33.3%
小計	351	124 (28)	35.3%
高等学校	45	10 (5)	22.2%
全合格者 合計	396	134 (33)	33.8%

新卒者(大学院、専攻科を含む)の群馬県公立学校教員採用試験志願者と試験結果

年度	志願者数	一次試験合格者数	二次試験合格者数
2020年度採用	154	136	113
2021年度採用	158	138	102
2022年度採用	150	123	101

■主な就職先(2020年度)
群馬県内および各都道府県の教員(公立小・中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園、私立学校ほか) 地方公共団体(前橋市役所、高崎市役所、伊勢崎市役所、群馬労働基準局、群馬県警察) 企業等((株)群馬銀行、(株)東和銀行、SONPOケア(株)、群馬ダイヤモンドベガス、アストラゼネカ(株)、東京海上日動パートナーズ、ゼビオ(株)、(株)ツルヤ)

Interview

本当に英語が好きだから、子どもたちにこの魅力を伝えたい

英語専攻での「好奇心あふれる英語好き」との出会いが刺激に

「好きなことを仕事にしていきたい」と考える人は多いと思いますが、私はま



さに「英語好き」として教員を目指しています。

中学生の時から、「英語を勉強するのが好き」「友だちに教えるのが好き」「勉強方法を自分で工夫するのが好き」、こんな少年でした。高校に入って、熟語の成り立ちや文法の根底にあるルールや法則を知ると、さらに好奇心が刺激され勉強が楽しくなっていました。

入学してみると共同教育学部の英語専攻は思った以上に良い環境でした。自分と同じように教員を目指す意識の高い仲間や、「英語」についての話題に食いついてくるような「好奇心あふれる英語好き」が多くて、自分が求めていた環境に身を置いている実感があります。

部活動では、演劇部に所属しています。高校の時から続けていますが、これも結局「人前に立って自分を表現する」ということが教壇に立つことにつながるのではないかと最近では思っています。

受験英語の先にある、英語の魅力を伝える先生に

大学では、英語の背景にある歴史や細かい文法、発音、文学、アメリカ英語とイギリス英語などを学び、多角的な視

星野 皓さん Hoshino Hikaru

共同教育学部 英語専攻 2年
(群馬県立桐生高等学校出身)

点から英語教育にアプローチしています。私たち共同教育学部は長い歴史を持っていて、教育実習も充実していますし、附属小中学校の現役先生の研究会を見学する機会もあります。教授方も先端の教育学を牽引するような知識を持たれていて、「教科を教える先生」というより、教員の人材育成に着目したカリキュラムが充実していると思います。

中学時代の英語の恩師は、青年海外協力隊員としてアフリカで教師をしていた人でした。赴任当時の写真を見せてもらった時に、「世界はこんなに広いんだな」と感動したことを今でも覚えています。もしかするとその経験が自分の英語熱に火をつけたきっかけになったかもしれません。私も世界に一度は出たいと思っています。その経験や知識を子どもたちに伝えて、彼らが自分の世界を広げるきっかけになればと思います。

授業は子どもたちと作る即興劇だと思っています。いずれは機転を利かせられるクリエイティブな授業ができ、暗記だけではない英語の習得法を伝えられる教師になりたいです。子どもたちには、受験のためだけに英語を勉強するのではなく、人生を豊かにする手段として身に付けてほしい、そう願っています。

共同教育学部には、各専攻にその教科を心底好きな学生が必ずいます。そういった人との交流のなかで、刺激を受けながら自分を磨いていってほしいと思っています。



※学年は取材時のものです。

Interview

自然の不思議と面白さを自分自身でも探求する

両親が教員ということもあり中学の時から教員になることをイメージしていました。群馬大学教育学部のカリキュラムは優れていると聞いていましたし、小中高、そして幼稚園や特別支援学校の教員免許まで取得の選択肢がある点で、自分の可能性を広げてくれるのではないかと考えて受験しました。

教育学部の学生たちは、同じ目標を持っているので特有の一体感があり、みんなとの4年間は楽しい時間を送ることができました。理科専攻は入学時から26人ほどのメンバーで4年間過ごしました。研究室に入ってから研究や、試行錯誤しながらの教材づくり、公園での昆虫採取など、理科ならではの活動は楽しい思い出です。公演やイベントに出かけて、子どもたちに実験ショーを披露することもありました。その時の子どもたちの楽しそうな姿に、教員になりたいという気持ちがさらに強くなりました。

豊富な教育実習が現場力を育てくれた

群馬大学では実習プログラムが充実しています。1年次から現場を見学する「観察実習」があり、2～4年次は幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、社会福祉施設などでの実習プログラムが次々に課されます。また、指導案を書く授業も多く、同級生を相手にして模擬授業を行う機会も多かったです。それで教育現場に立つためのスキルや心構えができていったのだと思います。

自分の専門では、3年次で有機化学の研究室に入って実験に集中しました。先生に励まされ、何度も失敗しながら実験を重ねたことで、「試行錯誤しながら挑戦することに価値がある」という考えに至りました。こうした経験が今の指導につながっていると思います。

私は、小中高の教員免許を取得しました。現場に立って感じるのですが、この3つを所持していることが、子どもたちを理解して指導することにとても役立っています。「小学生が中学校入学後に、つまづかないためには何が必要か」「中学生や高校生が抱える問題の原因は下の年代のどこにあるか」などを理解することで、小中高を通しての子ども達の心身の発達や学習のつながり、一貫性のある指導もできると感じています。

大学時代、私は興味があれば、違う先生が行う同じ講義をどちらも受講することがありました。自分自身が学ぶことに貪欲でありたいです。今は現場で、子どもたちが学ぶことの楽しさを感じられるような授業ができる教師になりたいと思っています。そのためには自分自身が好奇心を持って各教科に接することが大切だと思っていて、そうすれば子どもたちも興味を持って学びに向き合ってくれると信じています。

山口 里香さん Yamaguchi Rika

勤務・榎東村立南小学校
教育学部 理科専攻
平成25年度卒業
(高崎健康福祉大学高崎高等学校出身)



学ぶ意欲を自分で示して子どもを巻き込みたい



荒牧
キャンパス

Aramaki Campus

Faculty of Informatics

情報学部

文理融合学部 充実したデータサイエンス教育

情報学部は、2021年にそれまでの社会情報学部と理工学部電子情報理工学科情報科学コースが合流し、外部からの新たなスタッフも加わりパワーアップしました。科学技術と人間社会の調和が求められる中で、情報を軸とした文理横断型の教育により、Society5.0を支える、IoTやビッグデータや統計的解析等のスキルを持ちつつ、人文科学・社会科学・自然科学の知見を有した、文系・理系どちらにも偏りすぎないバランスのとれた人材の育成を目指しています。

▶ 情報学部 HP

<https://www.inf.gunma-u.ac.jp/>



プログラム概念図

1年次 学部基盤教育

どのプログラムにおいても基軸となる専門能力を養い、プログラム横断型の科目の履修を通じて文理融合による俯瞰力を育成します。

2年次 希望するプログラムを選択

情報学

融合型PBL・ゼミナール(演習)・卒業研究により、実践的に活躍できる能力を涵養します。



人文情報プログラム

言語メディア論

マス・コミュニケーション理論

ソーシャルメディア論

情報社会と倫理

社会的コミュニケーション基礎論

【養成する人材像】人文科学的知見を活用して高度情報化社会における課題を探索する能力を修得し、課題解決のための実践的理念を提供する能力を修得します。

● 将来のキャリアビジョン:
マスコミ・メディア産業/情報通信関連企業/広報部署/企画・調査部署/公務員/社会起業家 など



社会共創プログラム

情報政治論

情報社会と人権

情報法・行政法

経済学基礎論

政策情報論

【養成する人材像】高度情報化によるシステム(制度)の変化について、社会科学的知見を活用して課題を発見し、社会的課題の解決および社会目標の達成のためのシステム(制度)の構築や方策を提案できる能力を養成します。

● 将来のキャリアビジョン:
公務員/金融機関・情報通信業/企画・営業部門/フィナンシャルプランナー/証券アナリスト/アクチュアリー/経営コンサルタント など



データサイエンスプログラム

機械学習

確率統計

数値最適化

医療情報学

データベース

【養成する人材像】社会全体から集められるビッグデータを、情報システムを利用して収集する方法を設計し、集まったデータから、目的とする価値に適合した解決策を導く能力を養成します。

● 将来のキャリアビジョン:
データサイエンティスト/システムエンジニア/情報サービス業・金融業・製造業等のIT関連研究開発者/公務員/アクチュアリー/経営コンサルタント/医療情報技術者 など



計算機科学プログラム

計算機システム

人工知能

情報ネットワーク

プログラミング言語

アルゴリズム

【養成する人材像】計算機や情報ネットワークをその数理的原理から理解することで、進歩の速い情報技術をフォローアップできる能力をもち、人工知能や各種情報システムを研究開発できる能力を養成します。

● 将来のキャリアビジョン:
ITエンジニア/情報通信機器開発者/組み込みシステム設計開発者/システムエンジニア/企業等のIT関連研究者 など

入試は?

大学入学共通テスト

● 前期・後期ともに文系でも理系でも受験できます。

前期日程

● 数学、英語 両方またはいずれか片方でも受験可能

後期日程

● 小論文 大学入学共通テスト重視型、小論文重視型が選択可能

※入試科目の詳細については、7月公表の入学選抜に関する要項をご確認ください。 ※学校推薦型選抜も実施します。

「文理融合」の環境が成長を後押ししてくれる

メディアについて深く学ぶならこの学部

高校時代には新聞部に所属し、文章を書くのも大好き。「メディア系の仕事をめざす私にピッタリ」と思って進学を志したのがこの学部です。「情報を文系と理系の2つの切り口から学べる」新しい学部ということにも興味をそられました。ただ、私は自称「ド文系」の人間で、「データサイエンス」や「計算機科学」などの理工系の専門知識を学ぶために入学した人たちと同じ講義を受けることに多少の不安がありました。しかし、数学やプログラミングの難しいと思っていた授業も、先生方の親身なアドバイスや、友だちの助けを受けながら、楽しく受けることができました。

実社会に近づく学びと体験を積んでいます

私は「群馬大学学生広報大使」を務めています。メンバーたちと大学情報の発信について、企画・立案から制作までを担う活動です。広報誌の編集作業では卒業生にインタビューしたり、Webで開催されたオープンキャンパスではYouTubeでの配信を行いました。「自分の目標に近づいている」と感じられるこんな活動が、大学生活を豊かにしてくれています。

2年次からは「人文情報プログラム」を選択したいと思っていますが、理系の人でも文系の人も共に学ぶ学部が私の世界を広げてくれていると実感しています。高校生の頃は文理別々のクラスで教科書の勉強でした。今は、社会を広い視野で見つめるための基礎学問を自ら選択して学友と刺激し合いながら学んでいます。

みなさんにも情報学部で「新しい出会いに刺激を受けてほしいな」と思っています。



増田 日菜里さん
Masuda Hinari

情報学部 情報学科 1年
(群馬県立太田女子高等学校出身)



※学年は取材時のものです。

「情報」という広い領域を自分の視点で探究したい

3つのカテゴリーからの選択で自分の進む道を絞り込む

ITをはじめとするデジタルサイエンスの重要度は日々増していると思います。情報発信や情報処理の知識には大きな未来があると考えていました。群馬大学には「実践的な学び」を期待して入学しました。社会情報学部はディレクション制が特徴で、2年次から「メディアと文化」「公務と法律」「経済と経営」のカテゴリーから学びの方向性を選択できます。私は、行政においてICT(情報通信技術)を活用するための知識やスキルを身につけたいと思い、「公務と法律」を選択しました。また、1年の時から参加している「データ解析プログラム」で実践的活用方法や問題点を発見する手法も学んでいます。

将来は公務員として市民と行政の懸け橋になりたいと考えているので、卒業までの期間でその職責を担える人材に成長したいです。

学生生活のなかで、変わっていく自分を見るのは楽しい

みなさんは大学生活をどのようにイメージしていますか。交友関係を広げたいならサークル活動に参加するのも一つの方法です。私は入学して間もなく参加した「履修相談会」や「新入生交流会」のおかげで安心して学生生活をスタートできたので、その企画などを主催する生協学生委員会に入りました。この委員会では50名ほどの部員と一緒に企画を練ったり活動をして、学生ならではの自立した運営に携わっています。そのことで、以前は控え目だった自分が、みんなの前で自分のアイデアをアピールすることが苦にならなくなりました。勉強だけでなく、仲間と楽しく過ごす時間が作れるのも学生生活の魅力ですね。

※社会情報学部は2021年4月に学生募集停止となりました。

中澤 未来さん
Nakazawa Miku

社会情報学部 社会情報学科 3年
(高崎健康福祉大学高崎高等学校出身)



「経済・経営もITも」と、欲張って学んだ4年間

刺激いっぱいの授業で新しい考え方に触れる

受験時には、自分の将来に明確なビジョンを描いていたわけではありませんでした。「自分は何を勉強して、どんな進路を目指すのか」という迷いもあるなか実社会につながる経済・経営を学ぼうと思い入学しました。

学生生活は、桜や紅葉の季節が特に美しい緑多いキャンパスで、のびのびと過ごしました。生協学生委員会での活動ではメンバーと企画を立てたり、同好会的なバドミントンサークルで汗を流したりと、楽しかった思い出がたくさんあります。

授業からは日々刺激を受けました。印象に残っている講義は特に2つあります。数値を論理的に経営に活用していく「経営科学」は、数学自体が好きだったこともあり、数学と経営を合わせた思考法を身につけるきっかけになりました。「経営情報論」では、最近実用化が進むタグを使った自動会計システムについて、実用化に向けての可能性と問題点をみんなで議論しました。これらの授業は、高校時代とは違って主体的に考えていく場です。自立して学ぶ機会が多いので、みなさんにも楽しみにしてもらいたいです。

社会人としての目標が、学びのなかで自然と明確になっていった

3年生になって「最適化論」を学ぶゼミに入りました。「ナビを使って最適な観光ルートを自動選択していく」というようなテーマでしたが、さまざまな分野で応用が期待できる研究です。そこでルートを導き出すプログラムを作りましたが、経営を学びながら情

報工学系の知識も身につけられるというのが、社会情報学部の利点だと思いました。ゼミ生は同期が5人。「教員数が充実しているのでゼミは少人数で手厚い指導が受けられる」と聞いていましたが、そこも群馬大学の長所ではないでしょうか。

現在は、情報システムの開発や構築、管理を担う会社に勤めています。大学時代は苦手と思っていたプログラミングが今の仕事です。「IT技術と会社経営や社会組織との融合は自分が貢献できる領域」と思って業務に取り組んでいます。

私は、経済と経営に軸足を置いて学ぼうと入学しましたが、結果的にはIT・情報技術の分野で社会に出ることになりました。群馬大学で、さまざまな学問を幅広く学べて良かったなと思います。今現在、明確な目標が定まっていない受験生もいるかもしれませんが、私のように4年間学んでいくうちに、興味がある分野ややりたい仕事が決まってくることもあると思います。どちらにしても社会に出てから勝負なので、それまでの時間を基礎力の充実に当ててもらいたいです。見識の翼を広げられる、そんな学びの環境が群馬大学にはあります。みなさんの可能性は、みなさんが思っているよりもずっと大きいです。

増山 朋美さん Mashiyama Tomomi

勤務・株式会社 両毛システムズ
社会情報学部 社会情報学科(当時)
令和元年度卒業
(栃木県立栃木女子高等学校出身)



こんなに充実！



FACILITIES
01

多目的複合施設 大学会館



多目的ホール

福利厚生(食堂・売店)・課外活動機能、地域社会との連携協力を図るための生涯学習センター的機能および留学生の受入推進と留学生の教育・交流を中心とした国際センター等の機能を有する多目的・複合施設です。



売店



学生食堂



アトリウムラウンジ



アトリウムラウンジ

FACILITIES
02

国際交流推進のための組織 国際センター

国際センターでは、教育と研究分野における国際化を推進しています。学生の皆さんにさまざまな海外短期研修や交換留学プログラムを提供する一方、留学生の日本語教育、生活・学業支援を行っています。また、キャンパスでも海外を身近に感じてもらえるよう、English Café(外国人講師等との英会話)、Global Café(留学生と日本人学生との交流イベント)、グローバルフレンズ制度(ポイントを貯めながらさまざまな国際交流活動に参加)などを企画・運営しています。その他、グローバルチャレンジプログラム(群馬大学基金による学生の海外活動支援)も実施しています。



<https://www.guic.gunma-u.ac.jp/>



English Café



留学フェア



日本邦楽器演習演奏会

FACILITIES
03

完全自動運転など、 次世代の交通のための研究施設

次世代モビリティ社会実装 研究センター(CRANTS)



専用試験路を走るeCOM-10

次世代モビリティ社会実装研究センターは自動運転自動車をはじめとする未来の交通手段を研究するセンターです。建物の中には自動運転自動車を整備改造するための車両整備開発室をはじめとして、遠隔操作遠隔操縦のための設備やシミュレーション室など、高度な設備が備え付けられており、多くの企業との共同研究を行っています。

また、公的な研究機関としては国内最大規模の約6,000mの専用試験路が併設されており、さまざまな技術課題に対応した実験を行うことができます。



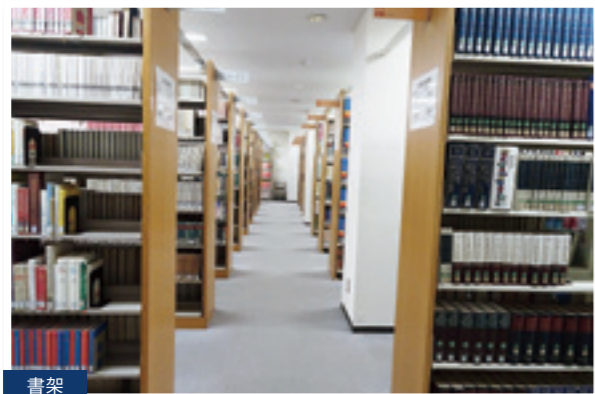
自動運転実証実験中



シミュレーション室

<https://crants.opric.gunma-u.ac.jp>





書架



閲覧室

1人用のキャレデスクもあります。

FACILITIES
04

あらゆる学術ニーズに応える「知」の集積施設

総合情報メディアセンター

(中央図書館／情報基盤部門)

総合情報メディアセンターには、図書館と情報基盤部門があり、教育や研究、社会貢献活動を支援しています。図書館は各キャンパス（荒牧、昭和、桐生）にあります。荒牧キャンパスの中央図書館では、学術書を中心に30万冊以上の図書を扱っており、雑誌等もあります。館内にはWi-Fi環境が整備されており、どこでも無線LANに接続でき、検索や学習を行うことができます。また、ラーニングcommons「アゴラ」というディスカッションしながら学習できるエリアや、定期的に展示物を替えるギャラリーも備えています。そのほか、学生の皆さんにおすすめの資料を展示しているコーナーもあります。情報基盤部門では、ネットワークの管理、各種ITサービスの提供を通じて、本学の情報化と情報セキュリティ体制の強化を進めています。荒牧、昭和、桐生の各キャンパスに、利用者対応のための職員が配置されています。

<https://www.media.gunma-u.ac.jp/>



ラーニングcommons「アゴラ」

数人で相談しながら学習できるスペースです。



光直取ネットワーク

キャンパスのネットワークが安心して使えるよう、日々管理・運用を行っています。



リフレッシュコーナー

当日の新聞と飲料の自動販売機があります。



ギャラリー

学内外の機関と連携して、さまざまな企画展示を行っています。



附属小学校におけるプログラミング教育

数理データ科学教育研究センターは、超スマート社会(Society 5.0)の基盤支援に向けて情報数理およびデータ科学を中心とした情報学分野の教育を展開するとともに、これらの素養を持った人材の育成および研究の推進を図ることを目的とした教育研究組織です。

<https://www.cmd.gunma-u.ac.jp>



オンサイト施設

独立行政法人統計センターの有する調査票情報を提供

FACILITIES
05

Society5.0を支える教育研究組織

数理データ科学教育研究センター



スタジオにて全学部学生用のe-learning教材を作成



e-learning教材作成用の専用端末

FACILITIES
06

群馬の食は世界を目指す
群馬大学の新しい地域貢献のかたち

食健康科学教育研究センター

食健康科学教育研究センターは、「食と健康」に関わる研究の推進および専門人材の育成により、大学の教育研究および社会貢献活動等の向上に資するとともに、地方公共団体および地方産業界等と連携して、地域産業の振興および社会における健康増進に寄与することを目的とした教育研究組織です。

<https://www.cfw.gunma-u.ac.jp/>



実験の様子



群馬県農業技術センターとの研究連携に係る覚書を締結



食品産業界のお話を熱心に聞く学生たち



リカレント教育

Showa Campus

昭和キャンパス

群馬県前橋市昭和町 3-39-22

医学部医学科、保健学科の学生が集うキャンパス。
医学部附属病院、生体調節研究所、重粒子線医学センターなどの医療や研究も整っています。



1 基礎講義棟

2 保健学科棟

3 ミレニアムホール

4 石井ホール



5 学生食堂・売店

6 総合情報メディアセンター
(医学図書館/情報基盤部門昭和分室)



7 アメニティモール
(コンビニ・レストラン等)

8 刀城会館



9 重粒子線医学センター
(重粒子線照射施設)

10 生体調節研究所



11 医学部附属病院



ACCESS



電車 ●JR両毛線にて前橋駅下車、北方へ4km

バス ●JR前橋駅北口2番乗り場(関越交通バス)
●全線「群大病院入口」下車(所要時間約13分+徒歩6分)
●群大病院行・群大病院經由群馬大学荒牧行・群大病院・南橋団地經由群馬大学荒牧行・群大病院經由南橋団地行「群大病院」下車(所要時間約15分)
●JR前橋駅北口3番乗り場(日本中央バス)
●群馬総社駅線「群大病院」下車(所要時間約15分)



医学部 医学科

北関東を代表する国立大学医学部

北関東に広がる強力な関連医療機関ネットワーク

教養教育から専門基礎・臨床にわたる6年間のカリキュラムを通し、科学的知 (Science) と倫理 (Ethics)、技能 (Skill) について広く学び、臨床・研究・行政・教育などさまざまな分野で「世界でも地域でも活躍できる医師」を育成しています。特に、医療の質・安全学については全国に先駆けて講座を設置し、医療安全教育・多職種連携教育の充実を図っています。

2020年度入学生からカリキュラムを刷新し、医師としての資質を涵養する教育にさらに力を入れています。4年次からの診療参加型臨床実習では附属病院だけでなく県内各地域の多くの医療機関の協力の下、地域の特性に応じた医療について学び、医師に必要とされる技能を修得できる体制を整えています。

▶ 医学部医学科 HP

<https://www.med.gunma-u.ac.jp/>

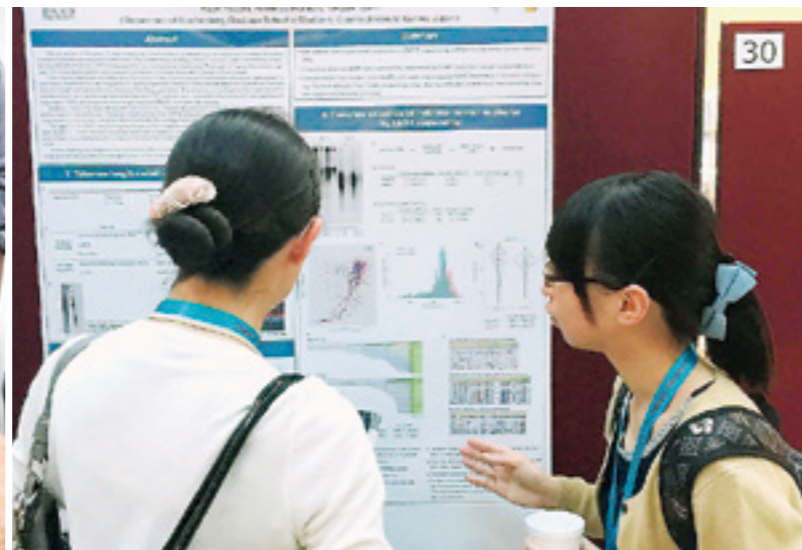


取得できる資格

医学部医学科を卒業することが医師国家試験の受験資格となり、医師国家試験に合格すれば医師免許を取得できます。なお、医師免許取得後に診療行為を行う場合には、所定の2年間の医師臨床研修を修了していることが法律で義務付けられています。このため、卒業生の多くは、卒業後すぐに臨床研修病院での2年間の研修を行うことを選択しています。臨床研修修了後は、希望する分野の専門医資格の取得や、研究・大学院進学など、それぞれのキャリア・プランに応じて進路を決めていきます。

医師国家試験受験資格

将来は、①主に患者さんの診療に携わる臨床医、②医学研究を行う研究医、③厚生労働省や保健所などで医療行政に携わる医師、④医学教育に携わる医師などとして社会で活躍することができます。

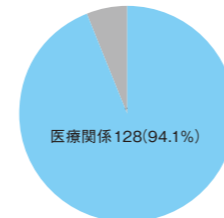


▶▶ 医学部医学科

【2020年度実績】

卒業生数 136 (2020年度) 単位: 人

その他 8(5.9%)



新卒者の医師国家試験受験者数と合格者数推移

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
2021	136	124	91.2
2020	118	113	95.8
2019	107	102	95.3
2018	124	113	91.1
2017	120	113	94.2
2016	105	98	93.3

■ 主な就職先 (2020年度)

【群馬県】群馬大学医学部附属病院、前橋赤十字病院、国立病院機構高崎総合医療センター、公立藤岡総合病院、群馬中央病院、伊勢崎市民病院、SUBARU健康保険組合太田記念病院、済生会前橋病院、利根中央病院、公立館林厚生病院、桐生厚生総合病院、国立病院機構横川医療センター、日高病院、公立富岡総合病院 等
【栃木県】獨協医科大学病院
【東京都】東京大学医学部附属病院、東京医科歯科大学病院、都立駒込病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、東京女子医科大学病院、日本赤十字社医療センター、東京都立墨東病院、東京品川病院、関東中央病院、国立国際医療研究センター病院 等
【埼玉県】自治医科大学附属さいたま医療センター、さいたま赤十字病院、埼玉医科大学総合医療センター、国立病院機構埼玉病院、春日部市立医療センター 等
【千葉県】千葉大学医学部附属病院、東京歯科大学市川総合病院、国立病院機構千葉医療センター、千葉市立海浜病院 等
【神奈川県】横浜市立大学附属病院、医療法人五会菊名記念病院、横浜栄共済病院、横浜市立市民病院、国立病院機構横浜医療センター、横浜南共済病院 等



昭和
キャンパス
Showa Campus

School of Medicine, Faculty of Health Sciences

医学部 保健学科

国際的保健学研究拠点 チーム医療教育
高度専門医療人養成 地域包括ケアの推進

保健学科では、①高度化・専門化する保健医療を担う人材、②地域完結型医療教育・研究を支える人材、③超少子高齢社会や国際社会で活躍する人材の養成、④チーム医療教育に力を入れています。看護学専攻では看護師、保健師、助産師を、検査技術科学専攻では、臨床検査技師、細胞検査士を、理学療法学専攻では理学療法士を、作業療法学専攻では作業療法士を養成しています。どの専攻でも高い国家試験合格者を誇っています。また、卒業後は大学院への進学を奨励しています。

▶ 医学部保健学科 HP

<https://www.health.gunma-u.ac.jp/>



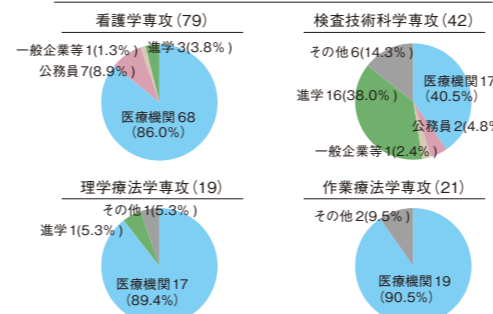
取得できる
国家試験受験資格など

看護学専攻	■看護師 ■保健師コース(定員40名) ■助産師コース(定員8名)
検査技術科学専攻	■臨床検査技師 ■細胞検査士養成コース(定員5名程度)*
理学療法学専攻	■理学療法士
作業療法学専攻	■作業療法士

※日本臨床細胞学会の認定する専門資格

▶ 医学部保健学科

● 進路状況 卒業生数 161 (2020年度)単位:人



(全国新卒者合格率比較)

専攻	国家試験種別	2021年 国家試験		2020年 国家試験		2019年 国家試験	
		群大合格率	全国合格率	群大合格率	全国合格率	群大合格率	全国合格率
看護学	看護師	98.7	95.4	98.7	94.7	98.6	94.7
	保健師	97.5	97.4	100.0	96.3	97.5	88.1
	助産師	100.0	99.7	100.0	99.5	100.0	99.9
検査技術科学	臨床検査技師	90.2	91.6	92.5	83.1	97.2	86.5
	理学療法士	94.7	86.4	100.0	93.2	100.0	92.8
作業療法学	作業療法士	100.0	88.8	95.5	94.2	94.4	80.0

■ 主な就職先 (2020年度)

群馬大学医学部附属病院、前橋赤十字病院、医療法人社団愛友会上尾中央総合病院、信州大学医学部附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、北海道庁、自治医科大学附属病院、東京医科大学病院、東京大学医学部附属病院、東北大学病院、群馬県、医療法人社団美心会黒沢病院、公益財団法人群馬県健康づくり財団、伊勢崎市民病院、医療生協さいたま生活協同組合埼玉協同病院、医療法人社団哺育会白岡中央総合病院、株式会社EP総合、公立藤岡総合病院、高橋産婦人科、国立病院機構東海北陸グループ全沢医療センター、医療法人高徳会上牧温泉病院、IMSグループ明理会中央総合病院、医療法人社団白美会新潟西蒲メディカルセンター病院、医療法人財団明理会イムス明理会仙台総合病院、医療法人社団苑田会苑田第一病院、医療法人社団日高会日高病院、医療法人全心会伊勢原友病院、医療法人明倫会宮地病院、本山リハビリテーション病院、一般社団法人巨樹の会新上三川病院、公益財団法人群馬県医師会群馬リハビリテーション病院、社会福祉法人聖隷福祉事業団、公益財団法人老年病研究所附属病院、医療法人菊栄会渋川中央病院、ミサトピア小倉病院、東京湾岸リハビリテーション病院、公益財団法人脳血管研究所美原記念病院、群馬中央医療生活協同組合前橋協立病院、諏訪赤十字病院、群馬中央医療生活協同組合、公立藤岡総合病院

Interview

医師としても教育者としても 尊敬できる先生方の元で、 学ぶ楽しさを実感

個性的な友人が多く楽しい学生生活。刺激を受けながらの充実の日々

小さい頃から医者になることを考えて

いて、受験を控え信頼され実績もある群馬大学を選びました。大学病院も併設しているため、さまざまな疾患を抱える患者さんが集まるので学生としても多様な症例について学べると思いました。

実際に入学してみると、先生方は研究や臨床で実績を残しておられる上に、教育者としての役割にも使命感を持たれている方が多いと感じます。最新の医療を牽引する先生方による講義からは、医学を学ぶ楽しさ奥深さが伝わってきます。

医学部は勉強ばかりの学生生活のように思われる方もいると思いますが、部活動も頑張る人やアルバイトと学業を両立する人もいます。ユニークな人が多くて、みんなさまざまな趣味を持っています。気の合う友人や刺激をもらえる同級生などとの出会いが学生生活を楽しいものにしてれています。私は部活には所属していませんが英会話に興味を持っていて、4年間レッスンを受けています。将来的にプライベートや仕事において少しでも役に立てばと思います。私のように在学中の時間を使って、趣味を充実させたり、資格を取ったりする人もいます。また、群馬県は自然豊かで、温泉やアウトドアレジャー、ウィンタースポーツ、ドライブなど余暇を楽しめる環境も充実し

佐藤 聖さん Satou Hijiri

医学部 医学科 5年
(群馬県立前橋女子高等学校出身)

ています。生活にメリハリをつけながら学生生活を過ごしています。

医師という職業をイメージしながら知識と経験を積み上げたい

5年生になって、毎日手術室や診察室を先生について回る臨床実習中です。瞬時に診断を下す先生、難しい治療方針を分かりやすく患者さんに説明する先生、難しいオペをやり遂げていく先生などを目にします。質問を投げかけると喜んで多くのことを教えてくれる先生ばかりです。教育者としても尊敬できる先生方の元で学べる、という点も群馬大学の大きな魅力です。

目の前の患者さんを自分の一挙一動で救える可能性がある。医師という職業には大きなやりがいがあります。それと同時に、重い責任も担います。大変な授業でも「自分の勉強は患者さんの人生に直結している」と思って学んでいこうと思います。

受験は本当に過酷です。私自身も恐怖で飛び起きた朝があったことを思い出します。この時期を通過して、現在の私は臨床医学や臨床実習の経験を重ねる日々のなか、自分が実際に医療現場に立つ日が近づいているという実感を持っています。大変な勉強も興味深く面白く感じられます。受験生のみならず、体調管理に気をつけて、今まで努力してきた自分を信じて頑張りたいと思います。



※学年は取材時のものです。

Interview

充実した実習プログラムで
現場力を鍛えられた

私は親族に看護師がいる家庭で育ちました。看護師の仕事がどういうものかというのは少し聞いて知っていましたが、高校生の時に祖父が亡くなり、看護師さんたちの対応に感謝すると共に、「もっと自分も何かしてあげられたのではないか」という気持ちになって、看護師を目指す決心が固まってきました。

群馬大学で看護師を目指すことには、様々なメリットがあります。附属病院があること、臨床検査や理学療法、作業療法を学ぶ学生たちと席を並べて勉強できること、知識と経験に優れた先生方から教えてもらえること、充実した先端の医療器機に触れられることなどです。受験は大変でしたが、自分が看護師として現場に立つ姿をイメージして勉強を頑張ることができました。

群馬大学では、1～2年生次から実習が経験できます。これが3年生になると実技と実習の時間が一気に増えて、3年生後半はほとんどの時間が実習に充てられます。実習では、医学部附属病院で整備された医療機器を間近で見られる機会もありました。

4年生は卒業研究に取り組みながら、実際の臨床を想定した実習となります。1人の患者さんに対応していた実習も、「2人を受け持ち同時進行する作業に対応する」というレベルに引き上げられます。このようなトレーニングを積むので、戸惑うことも少なく実際の現場に立てたと思います。

他学科の専門性にも 触れながら医療を学ぶ ことができた

群馬大学の特徴の一つである「チームワーク実習」は、印象に残るカリキュラムでした。検査技術科学、理学療法学、作業療法学など他専攻の学生と連携する模擬体験を行います。医学部や他大学の薬学科と連携したこともありました。例えば薬学科の学生から薬の副作用についてアドバイスをもらうなど、自分の専門外の視点には「なるほど」と思うことも多く、考え方を広げることができました。

高度化・専門化する医療のなかで
実力を発揮したい

大学生活では、勉強だけでなくサークル活動などを通じてプライベートを充実させました。実習で忙しい時期もありましたが、友人たちと過ごした時間が今も楽しい思い出として心に残っています。荒牧キャンパスでアカベラサークル、昭和キャンパスではダンスサークルに所属し、他学部の学生と共に活動していました。その時の仲間や先輩、後輩とは、今でも連絡を取り合っています。

現在は歯科口腔外科と泌尿器科に所属しています。超急性期から慢性期、終末期など多様な患者さんに対し、私にできる限りの対応を心がけて接しています。医療に関わる職業は「心を込める」ことが大切ですが、高度化・専門化する医療に対する多角的な知識と技術の積み上げも必要です。群馬大学医学部には、尊敬できる先生方はもちろん、素晴らしい先輩や同級生が多くて、その方たちからもたくさん刺激を受けられる医療を学ぶにふさわしい環境があります。



川田 由希子さん Kawata Yukiko

勤務・群馬大学医学部附属病院
医学部 保健学科・看護学専攻
平成30年度卒業(群馬県立前橋女子高等学校出身)



FACILITIES
01

日本をリードする
内分泌・代謝学研究所の拠点
生体調節研究所

生体調節研究所とは？

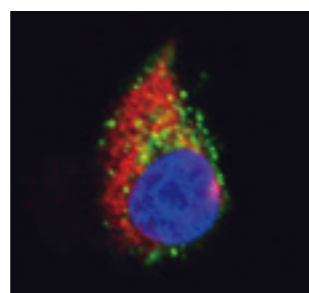
生体調節研究所は1994年に、前身である内分泌研究所（1963年に設置）が改組され、誕生しました。内分泌研究所が開設された当時は、群馬県内において海藻の摂取不足による甲状腺疾患の方が多かったため、甲状腺ホルモンの異常に起因する疾患の研究を行っていました。ホルモンとは甲状腺や膵臓などの特定の器官で作られ、体内を循環して血糖値や代謝などさまざまな生理現象を調節する生理活性物質のことです。その後、内分泌ホルモンやサイトカインなどの生理活性物質の作用や代謝の仕組みをより広い観点から理解するために、現在の生体調節研究所へと生まれ変わりました。改組後は、近年社会問題化している糖尿病、脂質異常症、肥満症、がんなどといった生活習慣病が内分泌・代謝系の異常により発症することから、これらの病因や病態の解明を中心に研究に取り組んでいます。



生体調節研究所では何を研究しているのか？

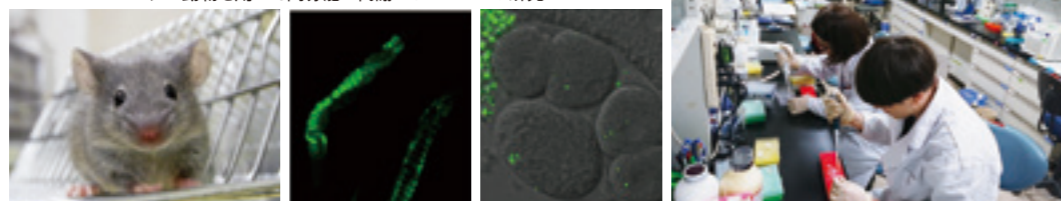
生体調節研究所では、膵臓で作られ血糖値の調節に働くインスリンやグルカゴンといった内分泌ホルモンの研究に加え、最近注目を浴びつつある脂肪細胞の研究も行っています。また、最先端のゲノム編集技術を駆使した新たな代謝制御法やエピゲノム改変法等の開発も行っています。さらに、さまざまなモデル生物を用いて生体恒常性を維持する普遍的な分子メカニズムの解明にも取り組んでいます。最近では、「食事と肥満」、「肥満と腸内細菌」、そして「iPS細胞等を用いたヒト膵臓再生」などの最先端研究も開始しています。

<https://www.imcr.gunma-u.ac.jp/>



膵β細胞内のインスリン顆粒

モデル動物を用いた内分泌・代謝メカニズムの研究



FACILITIES
02

安全・納得・信頼の医療を提供し、次代を担う人間性豊かな医療人を育成する

医学部附属病院



外来ロビーの様子

<https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>



医学部附属病院は、「大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る」という理念の基に、大学病院の役割である先進的な医療の実践・開発・教育を推進し、皆さんが安全で健康な生活がおくれることを目的とします。診療については、群馬県で唯一の特定機能病院として地域医療に貢献するとともに、一般医療機関では行き難い高度医療を提供する医療機関として活動し、研究については、先進医療の開発を中心とした臨床研究を行い、教育については、医学部等の要請による臨床実習および卒業後の初期教育を主体としています。

病院には、外来診療棟をはじめ、各種の診療棟・病棟、アメニティモール等が整備されています。このほか、院内では、患者さんのために音楽コンサートの開催や七夕飾りの展示等を随時行っています。また、本学の卒業生でもある星野富弘氏の作品を、アメニティスペース尾瀬に常設展示しており、患者さんをはじめご家族や教職員の心を和ませています。

FACILITIES
03

日本初の大学併設型
重粒子線医学センター

重粒子線医学センターは、重粒子線（炭素イオン）を用いたがん治療施設です。重粒子線治療は、重粒子を光の70%のスピードに加速して照射し、体の深部のがんに強いダメージを与え、メスを使うことなく痛みを伴わずに、体内のがんを治療できます。

本学の治療装置は、群馬県との共同事業として建設に着手しました。日本で初めて大学病院に併設された施設として、2010年に治療を開始し、海外からも患者さんを受け入れています。

県内外の医療機関と連携して、高度で統合的ながん医療体制を構築するとともに、欧米やアジアの医療機関と活発に交流し、先進的重粒子線治療の国際拠点として、人材育成や共同研究をおこなっています。

学生の臨床実習にも活用され、施設見学会では、多くの市民にご参加いただいています。

<https://heavy-ion.showa.gunma-u.ac.jp/>



Kiryu Campus

桐生キャンパス

群馬県桐生市天神町 1-5-1 理工学部の学生が2年次から学ぶキャンパス。



1 体育館



3 総合情報メディアセンター
(理工学図書館/情報基盤部門桐生分室)



2 総合研究棟



4 桐園(喫茶)



5 正門



6 工学部会館(売店・学生食堂)



8 しだれ桜
(キャンパスのシンボルのひとつ)



7 同窓記念会館
(理工学部の前身:旧桐生高等染織学校舎の一部。登録有形文化財)

ACCESS



太田キャンパス

Ota Campus

群馬県太田市本町 29-1

太田市にも理工学部のキャンパスがあり、産学連携とリカレント教育の拠点として研究等が行われています。



ACCESS



- 東武鉄道太田駅北口下車、徒歩約10分(市立太田小学校となり)
- 北関東自動車道 太田桐生ICから約10分

- 電車**
 - JR両毛線にて桐生駅下車、北方へ約2.5km
 - 東武桐生線にて新桐生駅下車、北方へ約4.1km
- バス**
 - JR両毛線 桐生駅 北口乗り場(おりひめバス)
 - 中央幹線(群大系統)・梅田線「群馬大学桐生正門前」下車(所要時間約7分)
 - 菱線「群馬大学桐生東門前」下車(所要時間約7分~20分 ※乗車する曜日・系統によって異なります)
 - 東武 新桐生駅乗り場(おりひめバス)
 - 中央幹線(群大系統)「群馬大学桐生正門前」下車(所要時間約20分)



理工学部

- 分野を超えた幅広い学びで社会に求められる人材へ
- 企業と連携した問題解決型授業で実践力が身につく
- メンター制により教員が履修をサポート

群馬大学理工学部は創立100周年を超え、今まで多くの有名な技術者・研究者を輩出してきました。持続可能な社会や Society5.0を支える科学技術を幅広く学ぶことを通じて、今後大きく変わっていく産業構造に対応し、社会で活躍できる実践力をもった人材の育成を目指しています。

理工学部は今まで高い進学率を誇っている他、就職率も高く、多くの学生が一部上場企業へ就職しています。また、在学生の4人に1人は女子学生という女子学生の比率の高いのも特徴で、卒業後は女性研究者・技術者として活躍しています。

▶ 理工学部 HP

<https://www.st.gunma-u.ac.jp/>



類・プログラム紹介

入試は類別で行います。1年次は全員で理学系基礎科目等を、2年次は類別で類基礎科目を学びます。その後、2年次後期～3年次に学びたいプログラムを選択します。

物質・環境類

持続可能な社会を支えるための基礎となる化学・生物・物理を融合した科学技術について、幅広く学べます。

応用化学プログラム

物質科学と生命科学から持続可能な社会の基盤を生み出す

物質の合成・構造・性質に関する分野や遺伝子、生命科学分野について学びます。

- 卒業後の進路
- ▷ 大学院進学 ▷ 化学系企業 ▷ 食品・化粧品系企業 ▷ 医療・製薬系企業 ▷ 材料系企業

食品工学プログラム

食品生産工学・食品科学のプロフェッショナルを目指す

食品機能を科学的に理解するとともに、食品の創出に関わる生産工学を学びます。

- 卒業後の進路
- ▷ 大学院進学 ▷ 食品系企業 ▷ エンジニアリング系企業 ▷ 材料系企業 ▷ 化学・化粧品系企業

材料科学プログラム

あらゆる材料を網羅した総合型材料開発を目指す

物質科学ならびに金属工学を基軸として、材料開発に関する基礎から最先端の知識と技術を体系的に幅広く学びます。

- 卒業後の進路
- ▷ 大学院進学 ▷ 化学・材料系企業 ▷ 電機・電子系企業 ▷ 自動車系企業 ▷ 機械・精密機器系企業 ▷ 医療機器系企業

化学システム工学プログラム

スマート社会を実現するデバイス、装置、プロセスの開発を目指す

物質・エネルギーを無駄なく、クリーンに利用・生産するための知識と技術を学びます。

- 卒業後の進路
- ▷ 大学院進学 ▷ 化学系企業 ▷ エンジニアリング系企業 ▷ エネルギー関連企業 ▷ 材料系企業

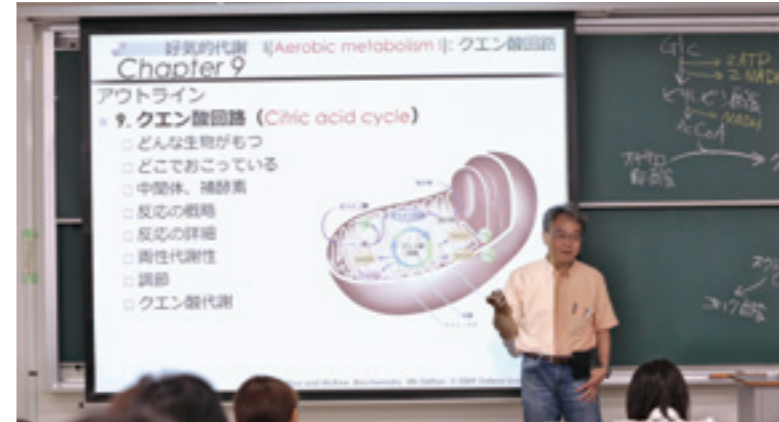
土木環境プログラム*

自然環境との調和を図り、国民の安全を守る

自然災害からの防御や社会的・経済的基盤の計画・整備・維持管理のための技術を学びます。

- 卒業後の進路
- ▷ 大学院進学 ▷ 公務員（土木職）▷ 建設・防災・環境系企業 ▷ 社会インフラ企業（鉄道・道路・ライフライン等）

*土木環境プログラムと機械プログラムは JABEE（日本技術者教育認定機構）認定のプログラムです。



電子・機械類

Society5.0を支えるIoTやロボットなど物理・数学を基礎とした科学技術について、幅広く学べます。

機械プログラム*

エネルギー・材料加工などの幅広い技術を身につけ、世界に通用する技術者の育成を目指す

エネルギー変換技術や材料加工技術、機械・材料・熱・流体力学技術について学びます。

- 卒業後の進路
- ▷ 大学院進学 ▷ 自動車・輸送機器・一般機械の製造企業 ▷ 精密・光学・情報・医療機器製造企業

知能制御プログラム

超スマート社会を創造する

超スマート社会を創造する知能化メカトロ制御技術、IoTによるエネルギー制御技術について学びます。

- 卒業後の進路
- ▷ 大学院進学 ▷ 精密機器・精密加工系産業 ▷ メカトロ・電機系企業 ▷ 医療機器関連企業 ▷ 自動車・輸送機器・一般機械製造企業

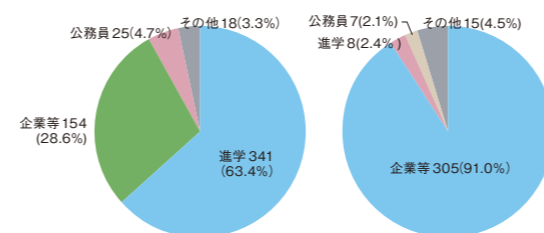
電子情報通信プログラム

電気電子工学のプロフェッショナルを目指す

最先端のデバイス、量子ビーム技術、通信技術、IoTシステムなどの、モノづくりにかかる情報技術やAI技術について学びます。

- 卒業後の進路
- ▷ 大学院進学 ▷ 電子部品・電気機器製造業 ▷ 情報通信システム ▷ 自動車・一般機械製造企業

学部卒業生数 538 単位：人
大学院博士前期課程 修了者数 335 単位：人



▶▶▶ 理工学部

■ 主な就職先

【物質・環境類】
アキレス（株）、王子製鉄（株）、（株）キャピタル・アセット・プランニング、（株）群馬銀行、（株）コムテック、白十字株式会社、（株）SUBARU、太陽誘電（株）、（株）第一生命情報システム、東洋インキSCホールディングス（株）、ニプロ（株）、日本道路（株）、（株）日立プラントサービス、三菱電機ホーム機器（株）、（株）山田製作所、群馬県庁、警視庁、国土交通省関東運輸局、高崎市役所、千葉県庁、栃木県庁、林野庁

【電子・機械類】
NEC ネットエスアイ（株）、（株）NTT 東日本一関信越、キャンノンITソリューションズ（株）、サンデンホールディングス（株）、芝浦機械（株）、セイコーエプソン（株）、（株）ZOZO、太陽誘電（株）、日本信号（株）、東日本電気エンジニアリング（株）、（株）東日本旅客鉄道（株）、（株）日立産業制御ソリューションズ、ファナック（株）、本田技研工業（株）、山崎パイン（株）、両毛システムズ（株）、足利市役所、埼玉県庁

*企業は50音順で掲載しています。
※現学科体制の進路データ・就職先を類に換算しています。

Interview



世界へ飛び出すためのプログラムも用意されている

子どものころから科学に興味があつて、高校は理数クラスに所属。自然な流れで群馬大学理工学部への進学を考えました。地元の大学で、のんびりとした地方大学ならではの雰囲気も自分が望んでいたものでした。桐生キャンパスは周囲に緑が多いし飲食店もバラエティーに富んでいるので、息抜きの場もたくさんあります。

サークル活動は学外ですがYMCAに所属しています。他大学や他学部の学生10人ほどとボランティアとして、キャンプの引率やレクリエーションの企画、運営を通じて子どもたちに関わっています。そんな活動も、チームで行う研究活動に役立っていると最近感じています。

1年次から『グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成プログラム』を希望して選抜されました。そこでは国際理解を含めた教養や外国語コミュニケーション能力などを磨きます。このコースの一環として、1年次にはオーストラリアに短期語学留学をしました。世界で活躍するチャンスも多い研究職なので、自分の可能性を広げてくれるこんなプログラムは、大いに利用したいです。

研究者としてのスキルや思考方法を鍛えられている

教養課程(荒牧キャンパス)を終えて

関龍一さん Seki Ryuichi

理工学部 化学・生物化学科 4年
(群馬県立沼田高等学校出身)

研究を後押ししてくれる
恵まれた環境で、ワクワクしながら学んでいます

2年次に桐生キャンパスに移る時には、新入生歓迎イベントがありました。自分は現在、その中の研究室紹介コーナーに興味を持った研究室に所属しています。内容はキャパシタの開発です。炭素系ナノ材料の開発やエネルギー変換・貯蔵デバイスの応用に関する研究で、ハイブリッド自動車の補助電源や夜間電力貯蔵庫への貢献が期待される技術です。世界中で多くの研究者が追っているテーマで、「もしかすると大きな発見があるかもしれない」という期待感を抱かせてくれます。卒業研究はこのテーマに対してのチャレンジで、まさに大学で研究することの醍醐味を味わっています。教授からは次々に質問や課題を投げかけられ、研究者として鍛えられている実感もあります。化学現象と理論を照らし合わせていくという、一つ一つは地味な実験ですが、その積み重ねの先に大きな成果があるかもしれないと思っています。私は来年度より修士課程に進み、現在の研究を継続していきます。将来的な進路としては、チームで取り組む「研究開発」や「商品開発」にたずさわっていければと考えています。

群馬大学理工学部には、長年の研究成果の蓄積に加えて、高い次元の知識を分かりやすく伝えてくれる先生方、豊富な研究設備などがそろっています。こうした環境に加えて、誠実に勉強に取り組む学生の資質は、社会から高い評価を受けていると先輩方から聞いています。みなさん入学時点では自分がどんな専門に進むかは明確でないと思いますが、在学中には“分かっていることを発見していくワクワク感”を経験してもらいたいと思っています。

※学年は取材時のものです。

Interview

学生時代から世界の先端企業との共同研究を経験できた

コツコツと学んだ先にある大きな成果をつかみ取りたい

高校時代に「工学分野を学びたい」と考え、理系コースを選択したのが今の自分の始まりです。もちろん、当時は現在の仕事に就くことなど考えてもいませんでした。群馬大学は、学生数に対する先生方の数が多く丁寧な指導が受けられること、研究設備が充実していることに魅力を感じたので、進学を決めました。また、理工学部は他大学と比較すると女子学生率が高く、そこに安心感もありました。

私は大学院修了まで、通常6年かかるところを5年で修了しています。これは学科にもよりますが一定の成績基準を満たすと、早期卒業・早期大学院進学が可能となる制度を利用したものです。入学当時からこの制度の利用を目指していたので、コツコツと勉強を続ける学生生活を送ってきました。友人たちと桐生のまちなかでカフェ巡りをする時間も作りつつ、勉強は手を抜かない充実した時間を過ごせたのではないかと思います。

理工学部が集積してきた伝統の価値を知ってほしい

3年生になると半導体のアナログ回路に関するテーマを扱う研究室に入りました。その中で私が注力していたのは、アナログ回路の選別試験に関わる研究です。アナログ回路の不良品を選別するには時間がかかるため、短時間で効率的に試験できる仕組みを作ることができれば、製造コストを削減することができます。所属していた研究室の先生方は、

産業分野の動向にも通じていて、世界的に知られる半導体製造装置メーカーの方と共同で研究に取り組む機会を得ることができました。また、学会への参加機会も多く、先端の技術や発想に触れることで、エンジニアとしても鍛えられました。

現在勤務している企業は、イメージセンサーのリーディングカンパニーです。その中で、私はモバイル用イメージセンサーの製品開発を行う部署に所属し、大学・大学院で修得した知識と経験を基軸として、アナログ回路の設計に従事しています。世界最先端の製品に携わっているプライドを持って、一流のエンジニアと共に仕事をするのは、非常に刺激的であり、日々自分の成長を実感しています。

受験を考えている方の中には、具体的な将来像をお持ちでない方も多いと思います。私もその一人でしたが、群馬大学で価値ある学生生活を過ごすことで目標を見つけられましたし、その実現を支援していただける環境が整っていたと私は考えています。みなさんが理工学部に入学したら、まずは目の前のことに一生懸命取り組み、困難だと思ったことにも果敢にチャレンジしてみてください。私は「後悔のない道に挑戦した先に、自分の成長がある」と信じています。

柴崎 有祈子さん Shibasaki Yukiko

勤務・ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
理工学部 電子情報理工学科
平成30年度9月卒業
理工学府 理工学専攻 電子情報・数理教育プログラム
平成31年度修了
(群馬県立前橋女子高等学校出身)



こんなに充実!

FACILITIES
01

研究に不可欠の多種多様な 高度分析機器を揃える基幹施設 機器分析センター

大学に行ったら、「まだ世界の誰も知らない発見をしたいな」とか「自然環境にやさしく、我々の生活が豊かになるような新しいものを開発したいな」といった夢があると思います。このような夢を叶える大事なものが何だろうと考えた時、3つくらい思い浮かびます。1つ目は皆さん自身のがんばり、2つ目は頼りになる先生・友人・家族、そして3つ目は「研究に必要な先端分析装置」です。現代の研究は、ナノメートルでものを見たり、目では見えないものを評価したり、短時間で100種類の化学物質を決定するなど、非常に難しいことが要求される時代です。

このような要求に応えることができる先端分析装置を扱うところが機器分析センターです。

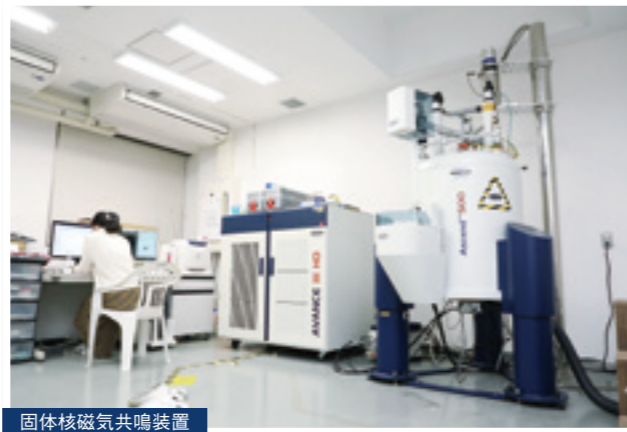
理工学部には160名ほどの先生がいてその中の約60名の先生が、そして300名ほどの学生さんが機器分析センターを利用して、夢の実現を目指しています。

また、機器分析センターでは、2-3年生を対象に、先端分析装置を用いて、分析に関する本質的な理解・高い技術力・実務経験を有した即戦力学生を育成する「マイスター育成プログラム」も実施しています。(https://www.gunma-u.ac.jp/web_oc_2021/html/st_003.html)

<http://www.trcia.gunma-u.ac.jp/>



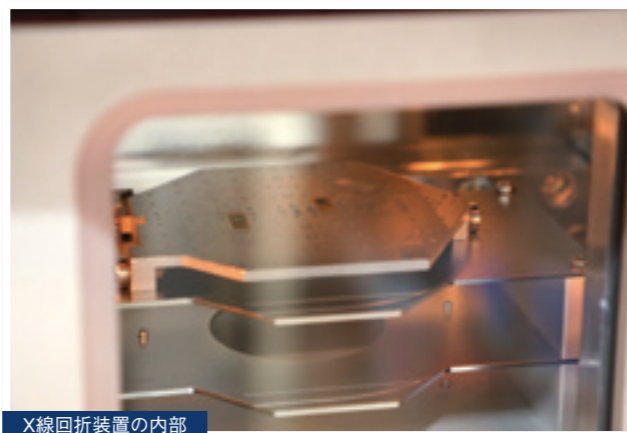
機器分析センター入口



固体核磁気共鳴装置



X線回折装置



X線回折装置の内部

FACILITIES
02

アイデアをカタチにする工作・製作拠点

マシンショップ

マシンショップ(機械工作室)は、理工学部の学生の工作実習や実験装置の製作などのサポートを行っている施設です。

学生の皆さんは授業や研究を通して、いろいろな機械に接します。いろいろな分野の学生が多種多様な機械の使い方を学ぶことによって、機械工作に関する知識を養っていきます。機械の使い方についても、専門のスタッフが常駐しており安全な使用方法を詳しく学ぶことができます。学生向けの講習会も多数開催していますので、日々たくさんの学生が機械工作を学ぶためにマシンショップを利用しています。

<https://machine-shop.st.gunma-u.ac.jp/>



学生がフライス盤にて研究用装置を加工している様子



学生がNC研削盤にて実験・測定している様子



ワイヤー放電加工機(FANUC Robocut α-C400iB)

FACILITIES
03

知りたいことがそばにある 理工系専門知識・情報の集積基地 総合情報メディアセンター(理工学図書館/情報基盤部門)



図書館は、各キャンパス(荒牧、昭和、桐生)にあります。桐生キャンパスの理工学図書館では、特に理工系専門書の収集に力を入れており、理工系専門書だけでも11万冊以上の図書や雑誌を提供しています。

また、ここ数年は、自宅からもアクセスできる電子ブックの導入を進めており、紙の図書に限らず理工系専門書の充実を図っています。

館内には、開放的な空間の中で友達と話し合いながら学習できるラーニングcommonsや、個人で勉強できる閲覧室のほか、学修室というグループでの学習に利用できる個室や、クワイエットスタディゾーンという雑音なしで勉強に集中できる部屋も備えています。

<https://www.media.gunma-u.ac.jp/>



学修室



クワイエットスタディゾーン



電動集密書架



グローバル フロンティア リーダー

Global Frontier Leader

育成プログラム

GFLって?

自国および他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人(グローバルフロンティアリーダー(GFL))を育成するプログラムです。



グローバル交流セミナー・サマーセミナー

外国人留学生や大学院生による講演会や各種ガイダンスを行います!



外国人教員による特別プログラム

グループワークやプレゼンテーションを主とした実践的な英語講義が用意されています!



特別講演会

企業等のトップリーダーや先端研究に携わる研究者を学生自ら招聘し講演会を企画開催します!



海外留学

GFL企画の留学プログラムも用意しています! GFL生は自身で選択して、学内外の留学プログラムや海外研修に参加しています。



詳しくはGFLホームページを参照ください! ▶ <https://gfl.jimu.gunma-u.ac.jp/>



どうすればGFL生になれるの?

I GFL特別枠入試を受けて入る!

学校推薦型選抜(11月実施)においてGFL特別枠入試を実施している学部があります。

※詳細は、本学ホームページの「入試案内」を参照してください。

入学時からGFL活動に参加でき、GFL特別枠合格者限定の教育プログラムを実施しています。

II 入学後に応募・選考を受けて入る!

● 募集対象 1年生

選抜スケジュール



教育GFL生の“教育力アップ”の秘訣

教育学部 音楽専攻
井上リカさん (GFL2019年度生)

神奈川県立横須賀高等学校 出身

私が感じているGFLの魅力は主に3つあります。1つ目は、英語を使う機会が多いことです。外国人の先生方によるスピーチ型授業や、国際交流イベントを通して、自由で自然な環境の中で、実践的な英語力を身につけることができます。2つ目は、学部を超えた総合的な講義や講演会に参加できることです。本学の先生方に加えて学外で活躍されている方々がGFL生のために、学部の垣根を越えた講演をしてくださいます。グローバルな視点はもちろん、ローカルな視点でも物事を考える力がつきます。

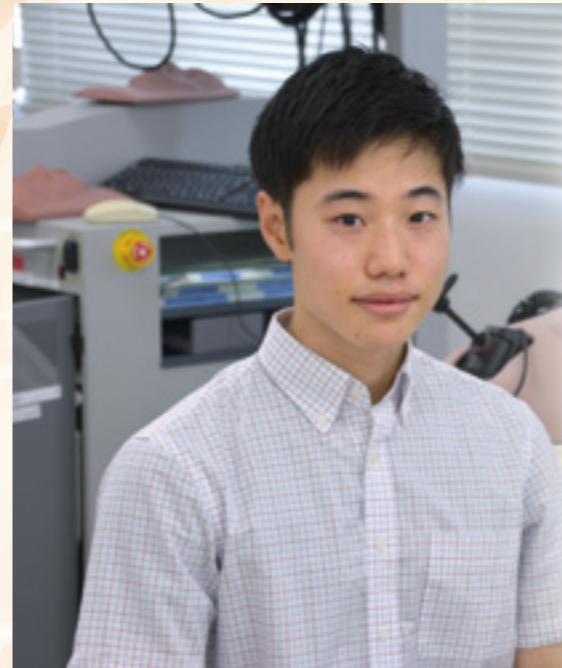
そして、3つ目は、全員がリーダーの経験をするということです。イベントや講演会において、企画や関係者とのやり取り、当日の運営までリーダーが責任を持って行きます。決断力や実行力、統率力などリーダーとしての素地が養われます。また、リーダーの経験から、自分がリーダーではない時には何をすべきなのか考え、全体を見て動けるようにもなります。GFLの活動を通して、どんな子どもを育て、その先にどんな社会をつかっていきたいのか、教師になった時のビジョンを描いていきましょう!



成長への踏切台

医学部 医学科
香村直輝さん (GFL2018年度生) 群馬県立前橋高等学校 出身

自らが学び成長する上で、仲間や環境がいかに大きな役割を果たしているか。このことについて考えたことがあるでしょうか。受動的ではいけない、とよく言いますが、積極的になるだけでは不十分です。新たな経験や異なる考えといった刺激、切磋琢磨する仲間、そして挑戦が実現できる環境。これらが我々の積極性を「大きな成長」へと昇華させます。私が強調したいのは、GFLなら全て揃えられる、ということです。GFLでは様々な講演会や交流会に参加できるだけでなく、自分で新たな行事を企画したり、GFL生限定の留学プログラムに参加する際には手厚いサポートを受けられたりと多くの利点があります。また、私にとって最も魅力的だったことは、活動を通して多くの繋がりを得られたことです。学年や学部・専攻を超えた仲間は皆優秀で、多くの刺激を受けました。私は英語学習に対して消極的でしたが、GFLに入って認識が変わり、今ではモチベーションを高く保っています。仲間と出会えなければ、この変化は生まれなかったでしょう。留学生や教職員の方々、外部の方ともお話しする機会があり、こうした繋がりに助けられることもありました。これらの人脈と経験は、一生大切にできる財産だと思います。共に一歩踏み出したい、というあなたをお待ちしております。



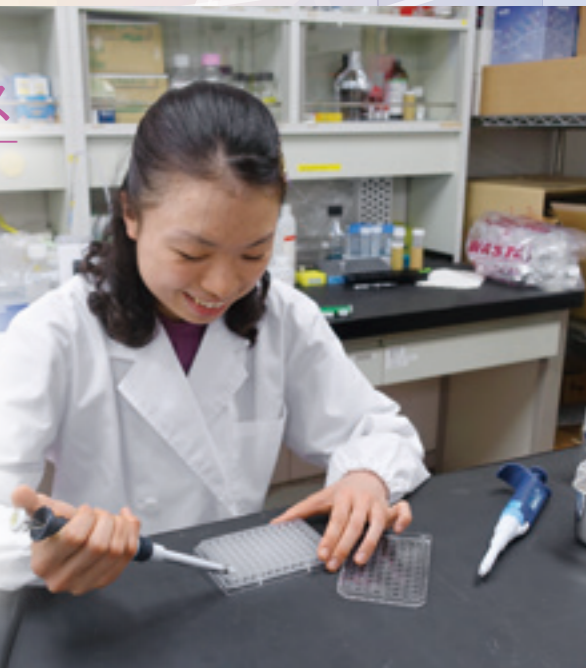
GFL=社会で活躍するための大チャンス

理工学部 化学・生物化学科
吉田聖さん (GFL2019年度生)

群馬県立高崎女子高等学校 出身

“将来、最前線で活躍できる人材になりたい!” その思いから、私はGFL活動への参加を決めました。GFLは、各学部・学科から選ばれた学生が集まっているため、志の高い人も多く、互いに高め合い、刺激し合い、時に競い合うことのできる自分自身の成長の場であると思います。

実際に、私自身もGFL活動に参加してからは、学生リーダーを務めたオーストラリア留学や1年間の活動成果を発表する成果報告会において、多くの人の前で発表する貴重な経験ができました。これらの経験から、自分に自信を持つことができるようになり、さらに自分を磨き上げようという向上心を持つようになりました。これは、GFL活動に参加したからこそ得られたものだと思います。皆さんもGFL活動に参加し、群馬大学で培った力を社会で存分に発揮する“グローバルフロンティアリーダー(GFL)”を目指してみたいかがでしょうか。



ご不明点等ありましたら、どうぞご遠慮なくお問い合わせください

✉ gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp ☎ 027-220-7132



海外留学

— Study Abroad —

海外研修プログラム

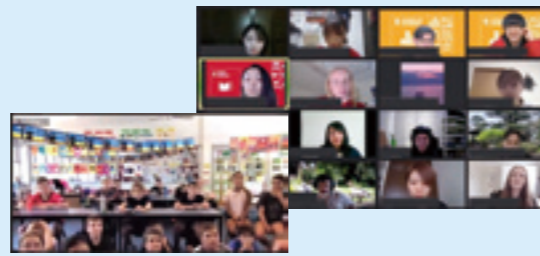
群馬大学では、28カ国1地域111大学等(2022年2月1日現在)と協定を結び、交換留学生として半年または1年、学生を派遣しています。また、夏休みや春休みを利用して、本学および協定校が企画する1~4週間程度の短期研修や語学研修に、多くの学生が参加しています(2019年度における、海外への留学生数は204名、海外からの留学生数は281名)。

このような交換留学や短期研修、語学研修などへの参加者は、日本学生支援機構の奨学金や群馬大学独自の奨励金制度を利用できます。また、2013年度からは教養教育科目や専門科目(一部の学科)の授業として単位が認められるようになりました。

さらに、自らオリジナルの留学計画を立案する意欲的な学生は、群馬大学独自の「グローバルチャレンジプログラム」に申請することができ、採用されれば奨学金や研修など、非常に手厚いサポートを受けられます。2021年春から、日本にいながら海外の大学と交流する新たなオンライン短期研修プログラムも開始しました。

SDGsの課題解決を多国籍の学生と一緒に議論

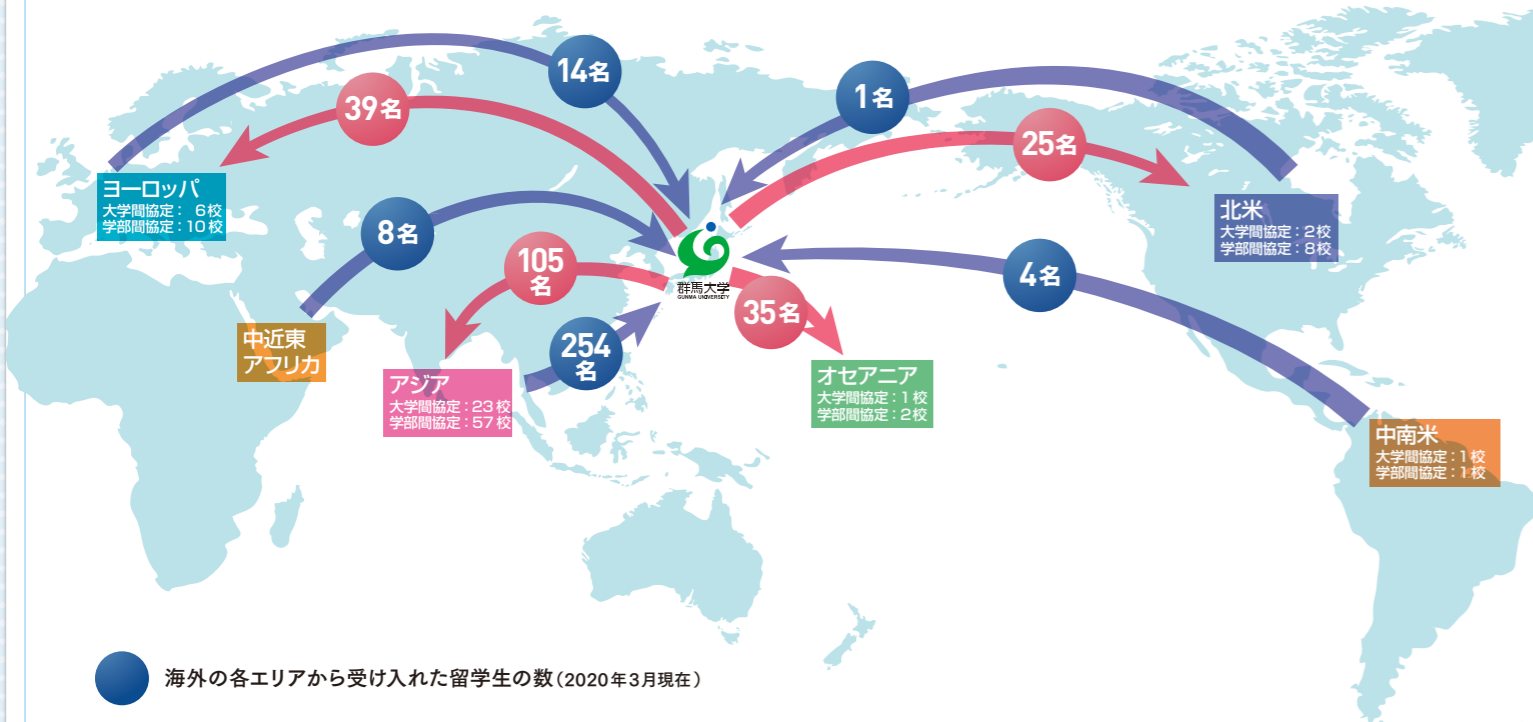
オーストラリア・ウーロンゴン大学オンライン研修協働プロジェクト
(2021年2月22日~3月5日)



小学校教育でどのようにSDGsが取り組まれているかを現地の小学生とオンラインで直接ディスカッションをしている場面

協定校情報

海外留学 28カ国1地域111大学等と提携



● 海外の各エリアから受け入れた留学生の数(2020年3月現在)

● 海外の各エリアの協定校等に留学・研修した群大生の数 人数は2019年4月~2020年3月の延べ人数

※2019年度の人数を参考に掲載しています。



学生サポート

— Student support —

学生支援センター

学生の個人的な問題に対する相談(修学相談・人生相談・生活相談など)に応じるため、「学生相談窓口」が学生センターと理工学部事務室にあります。また、助言を行うための全学的な機関として、荒牧地区(昭和地区含む)に学生相談室、理工学部に学生相談室分室があります。外国人留学生には、国際センターでも相談に応じています。

学費(2021年度入学)

※共同教育学部・情報学部・医学部・理工学部

	入学料	授業料(年額)	その他経費
共同教育学部	282,000円	535,800円	46,660円
情報学部			48,660円
医学部医学科			304,300円
医学部保健学科			94,370円
理工学部			88,560円

入学料・授業料免除制度

国の高等教育の修学支援制度により住民税非課税世帯およびそれに準じる世帯の学部生(外国人留学生を除く)に対して、日本学生支援機構の返還不要な給付奨学生に採用された場合は、入学料・授業料が減免されます。

また、この制度の対象外となる学生(外国人留学生および大学院生等)に対しても、経済的理由によって納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合は、授業料等を減免する制度があります。

なお、納入期限までに授業料の納入が困難な場合、徴収猶予や月割の分納を認める制度もあります。

奨学金制度

群馬大学では、日本学生支援機構の奨学金をはじめ、地方公共団体や民間奨学団体などの各種奨学金を取り扱っています。奨学金制度には、返還が必要な貸与型(無利子・有利子)と返還が不要な給付型があります。いずれの奨学金制度も学業・人物が共に優秀であって、経済的に授業料等の支出が困難な学生が対象となります。



奨学金制度の詳細はこちらをご確認ください

● 群馬大学ホームページ 奨学金案内

https://www.gunma-u.ac.jp/studentlife/stu003/stu003_001



● よくある質問

<https://www.gunma-u.ac.jp/admission/g19675>





学生サポート

— Student support —

健康支援総合センター

健康支援総合センターは、学生の皆さんを、身体的・精神的にサポートする学内の医療機関です。「からだ」と「こころ」の健康相談、カウンセリング、健康教育、保健指導、応急処置、医療機関への紹介など、卒業するまでの健康管理をサポートしています。

「群馬大学 健康支援総合センター」
<https://kenkoushien.hess.gunma-u.ac.jp/>



障害学生サポートルーム

障害学生サポートルームでは、さまざまな障害のある学生が、修学上、不利な立場におかれることのないよう学習環境を調整し、一人ひとりの学生がその個性と能力を発揮できるようにサポートを行います。

在学生からの学習や生活に関する相談、高校生等からの受験・入学後の支援に関する相談、障害などのある学生と関わる教職員の相談など幅広く対応しています。

「群馬大学 障害学生サポートルーム」
<https://syougai.hess.gunma-u.ac.jp/>



キャリアサポート室

キャリアサポート室は、学生一人ひとりの適性にあった進路決定ができるよう就職活動の支援を行っています。具体的には、1年次より学年に応じて、キャリア計画、キャリア設計をはじめとする学習意欲の向上を図り、インターンシップにおいては、社会的に必要な能力や実践的な能力の育成、希望する企業等へのマッチングおよび申請支援、実施に関する事前説明会、実習講座およびマナー教育並びに実習後の在学生への体験報告会等を実施しています。

キャリアサポート室では、各企業からの求人票・会社案内、先輩方の就職活動報告書、就職関連図書の貸出し・閲覧などができます。また、公務員用受験案内についても取り揃えています。



学生広報大使の取り組み

Student Ambassador 学生広報大使

群馬大学の在学生による広報チーム「学生広報大使」が、オープンキャンパスや進学相談会、広報誌、SNSなどで群馬大学の魅力を在学生目線でPRしています。

詳細はこちら



Twitter

@Gundai_sa



Instagram

gundai_sa



PV

<https://youtu.be/Y7JaxawTk24>



OPEN CAMPUS 2022



対象 高校生・中学生・保護者等

会場 WEB開催



WEBオープンキャンパス特設ページ

申込方法・実施内容(受験生応援サイト)

<https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/>



詳細は決まり次第、「受験生応援サイト」でお知らせします。



サークルについて詳しくはこちら ▶



学生寮



群馬大学には、前橋地区に養心寮、桐生地区に啓真寮の2つの寮があります。今回は養心寮の寮生として生活している学生広報大使が、養心寮の寮長の吉長さん取材しました。

このコーナーの取材を担当した学生広報大使！

医学部保健学科3年
筒井美帆さん
養心寮寮生
【福島県立台河高等学校出身】



このコーナーの撮影を担当したのは！

医学部医学科4年
医学部写真部
部長 田中郁亘さん



養心寮寮長の吉長 花咲さんにインタビュー

——養心寮とはどのような寮ですか？

寮生活と聞くと、管理人さんがいて、門限があったり、ご飯を作ってもらったりするような生活を想像される方も多いと思いますが、養心寮はそうではありません。養心寮は自治寮と呼ばれる、学生たちが自主的に生活する寮です。寮生一人一人が規則を守るように呼びかけ、快適に生活できるような工夫をしています。寮生は130人近くいるため、お互いの妥協点を探し、規則などを全員で話し合いながら決めています。

——寮長の主な仕事にはどのようなものがありますか？

寮長の主な仕事は、寮の管理人と毎週打ち合わせを行い、毎週月曜日に行われるブロック会議で寮生に伝達事項を伝えることです。

——ブロック会議とはどのようなものですか？

養心寮は、各階をブロックと呼ばれる区分に分けています。

ブロック会議とは、毎週月曜日の22時から開催される連絡会議です。ブロック会議では、事前に寮長から各ブロックの代表者に伝達されていた連絡事項を、各ブロックの代表者から寮生に伝達する形式をとっています。

——寮長になってよかったことはありますか？

今年は新型コロナウイルス感染症の影響でさまざまな行事が中止になってしまい、積極的に新入生と関わることができなかったのですが、寮長になったことで、連絡を伝達する際に、様々な人とコミュニケーションをとることができ、人との関わりが増えました。そこがよかったところです。

——寮長になっていやだなと感じたことはありますか？

いっぱいあります(笑)そうですね。言いたくないことを言わなくてはいけない立場であることです。規則を守れない人がいる場合、寮長として毅然とした態度をとらなければならない、嫌われ役にならなければならない。それがつらいです。また、今年は新型コロナウイルス感染症のために行事を中止する決断をすることもつらいです。本当は、私もみんなと楽しく行事をしたいので……。

——行動できないこの状況下で寮長として工夫していることはありますか？

例年であれば4月に新入生の歓迎会を行っていましたが、今年は中止になりました。入寮したばかりの1年生はとても不安だったのではないかと思います。上級生の私たちも顔を知らない人と暮らすのは寂しい部分がありました。新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは、積極的に寮生が集まることはできませんが、普段すれちがったときにあいさつをするなど、日常生活のなかで少しずつお互いの顔を知っていきたいと思っています。

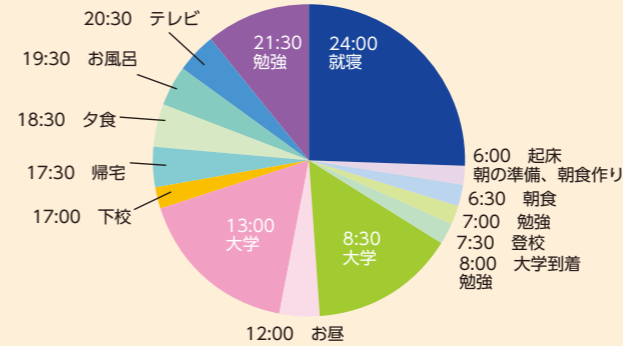
——寮長在任期間中にやりたいことや変えたいことはありますか？

地域の方などの寮の外部との交流を図りたいと思っています。例年であれば、地域の方と交流する機会もあったのですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、どのように地域の方との交流を行っているか知らない世代もいます。そのため今年は形にこだわらず外部との交流ができればいいな、と思っています。

——一人の寮生として、養心寮に入って1番楽しかったことや良かったと思うことは何ですか？

（この質問に対する回答は本文中にありません）

とある寮生の1日



寮に帰ってくると絶対知っている友達がいる、話したいときに話せるし会えるし、1人じゃないと思えるところです。

——逆に寮に入って少しいやだったところはありますか？

全部自分たちでやらなければいけないので、毎週掃除当番が回ってきたりするところがめんどうくさいと感じてしまうこともあります。

——入寮を考えている人にメッセージをお願いします。

掃除当番など大変なこともあります。養心寮には全学部から群大生が入寮するため、学部を越えたつながりができます。一人暮らしや実家暮らしなどでは出会えない友達ができるのです。想像していた寮生活と違うと感じる方もいるかもしれませんが、養心寮では他ではできない経験ができると思います。「『楽しい』の裏側をつくる」ことができるのが養心寮です。

——最後に、このインタビューの依頼がきたときにどう思いましたか。

寮のことを知ってもらえるのはうれしいと思いました。噂だけで寮はひどいところと思われるがちなので、それを払拭できるいい機会だと(笑) 私は、養心寮はとても楽しいところだと思っています。

養心寮のウソ!? ホント!?

養心寮は古く歴史ある寮です。その外観と内観はまるで廃病院のよう!?寮の行事では、寮を舞台にした短編ホラー映画を撮ったことも。

Q1 寮の行事ですごく忙しいってホント!?

養心寮には前期と後期ごとに、七夕祭、寮祭という大きな行事があり、その他にもスポーツ大会や地域の方と交流する長寿会などの細かい行事があります。行事の準備などがあるため、寮生ではない群大生と比較

すると忙しくなるかもしれません。勉強に支障のないよう考慮しながら、行事を通して寮生の絆を深めていきます。

Q2 寮は門限があるってホント!?

養心寮は門限の規則を定めていないため、門限はありません。ブロック会議や避難訓練など、寮生が全員参加しなければならない用事がある場合には、決まった時間までに寮に帰宅していなければなりません。

Q3 群大生なら一度は聞いたことのある、寮の「はんこもらい」が怖いってホント!?

はんこもらいとは、新入寮生が在寮生の先輩方から寮での生活について話を聞いたり、お互いを知ることを目的として行われる行事です。この行事を行うにあたり、細かい決まりや作法が多いため、新入寮生の中には少し怖いと感じる人もいますが、大勢での寮生活を送る上では欠かせない行事の一つです。

養心寮の詳細はこちら!

- ・養心寮オリジナルページ
- ・養心寮について (群馬大学HP)
- ・養心寮の実際のお部屋の一例はこちら

※取材は2020年に行われました。



養心寮 (荒牧キャンパスまでバス15分、昭和キャンパスまで徒歩10分)

収容人員	部屋タイプ	寄宿料 (月額)	諸経費	居室設備
男子 74室 女子 62室	個室 約9㎡	4,300円	自治会費(年額) 4,800円 光熱水費(月額) 6,000円	エアコン インターネット端子 TVアンテナ端子

●原則として通学に2時間以上かかることが入寮申請の要件となります。

啓真寮 (桐生キャンパスまで徒歩15分)

収容人員	部屋タイプ	寄宿料 (月額)	諸経費	居室設備
男子 65室 女子 24室 (変動あり)	個室 (ワンルーム型) 約19㎡ 35室	25,000円	クリーニング代(入寮時) 25,000円 共益費(月額) 1,500円 光熱水費(月額) 6,000円程度(※)	エアコン インターネット端子 TVアンテナ端子 ミニキッチン IHコンロ ユニットバス 独立型トイレ 室内物干し
	個室 (シェア型) 約18㎡ 54室	15,000円	クリーニング代(入寮時) 15,000円 共益費(月額) 1,500円 光熱水費(月額) 6,000円程度(※)	エアコン インターネット端子 TVアンテナ端子 室内物干し

※個人の使用量により異なります。



毎日温泉気分が入浴できます♨️



補食室にある、魚グリル付き2口ガスコンロがお気に入り! たまに友達と井戸端会議をします♪



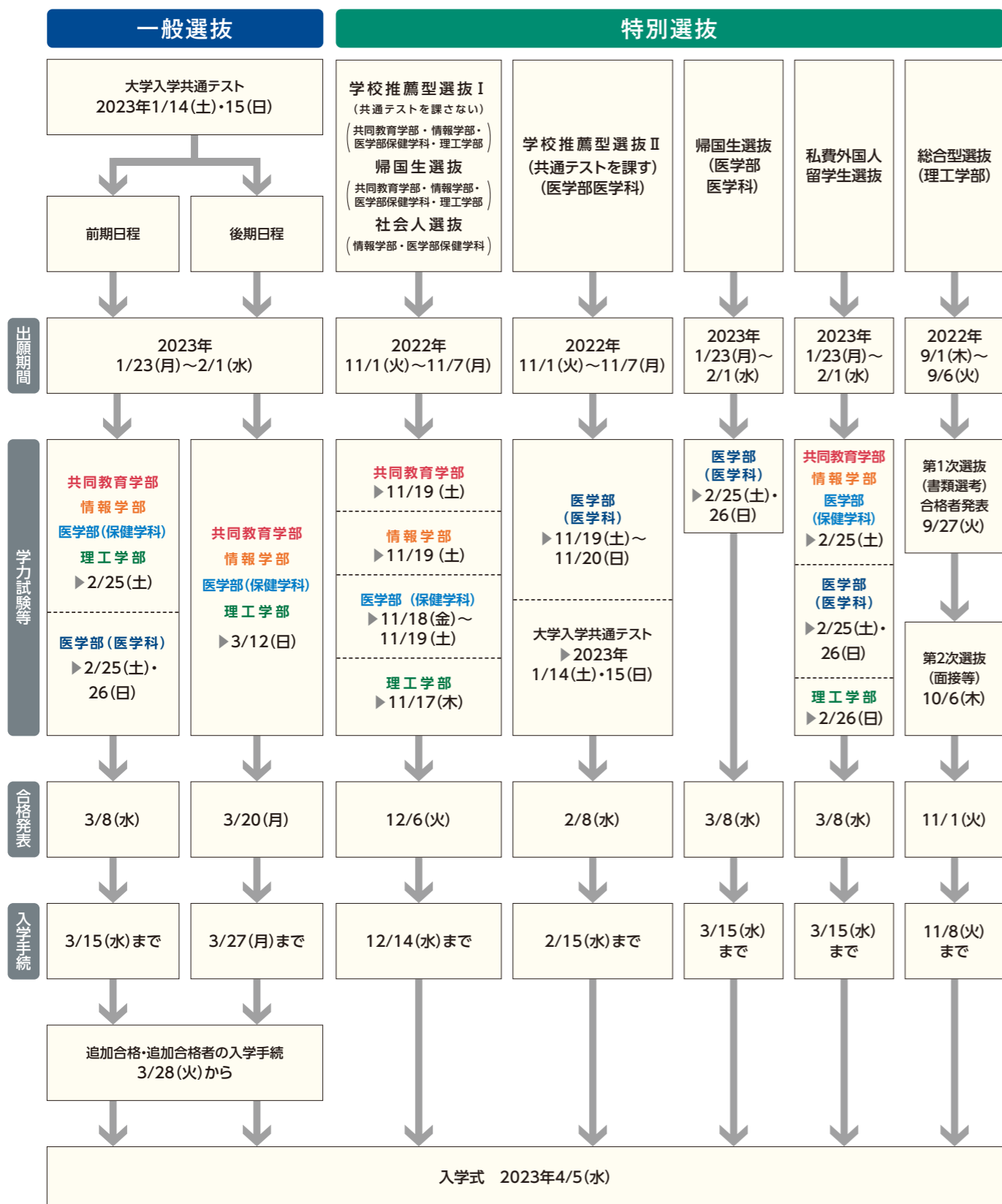
ブロック会議をする談話室



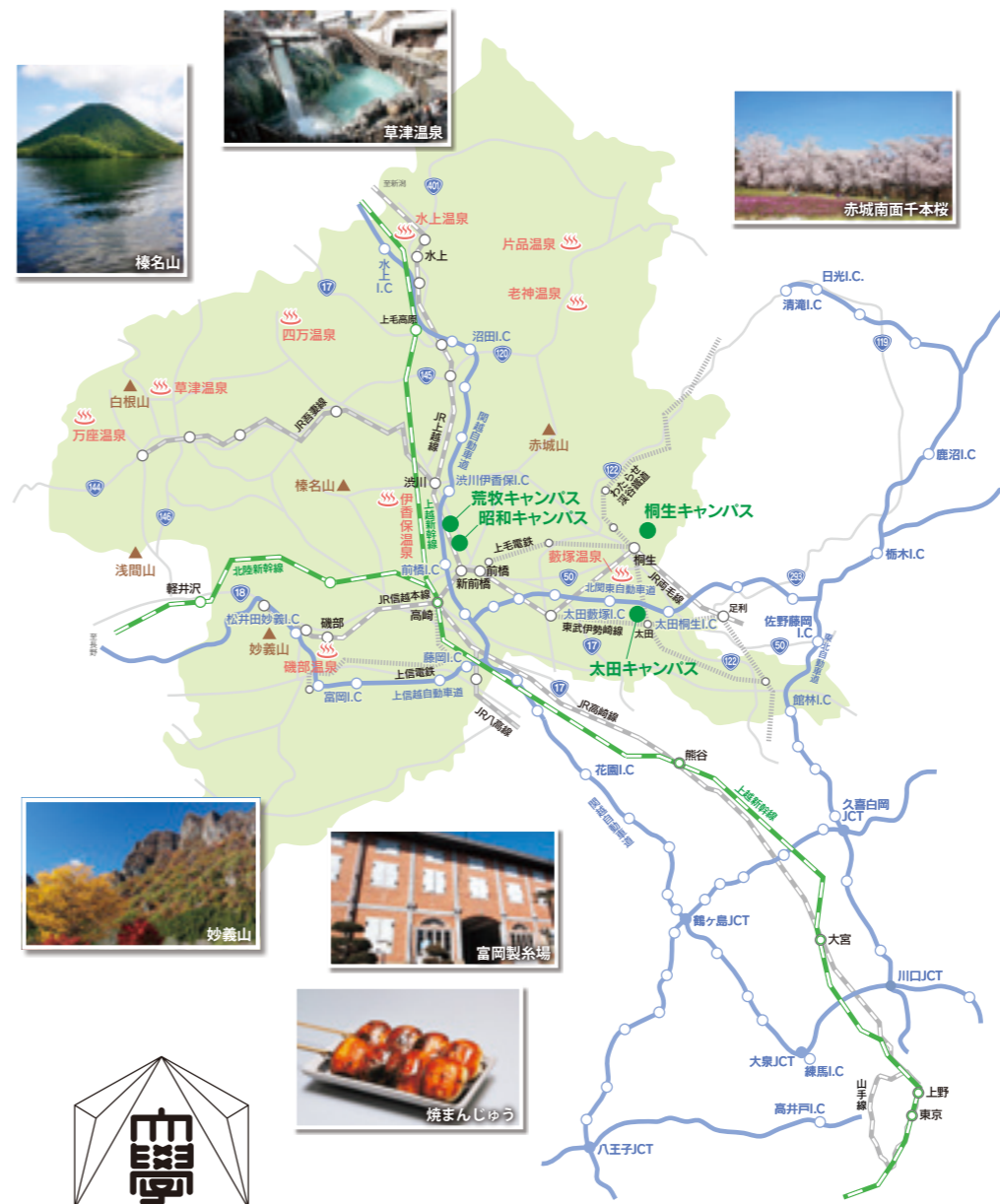
廊下の奥、何かいませんか……?

入試日程

【入学者選抜日程の概要】



※詳細は、「学生募集要項」で必ずご確認ください。



国立大学法人
群馬大学徽章

周囲は群馬県の象徴である名勝赤城、榛名、妙義の上毛三山を浮き彫りさせて大学を囲み、群馬大学の象徴としています。



国立大学法人
群馬大学ロゴマーク

群馬大学英頭文字「G」をモチーフに緑と青で豊かな自然環境を示し、学生の成長と活躍をイメージして、新しい未来の創造と、社会へ貢献する大学の存在感を表現しています。

群馬大学の歩み HISTORY OF GUNMA UNIVERSITY

- 1873 小学校教員伝習所(現共同教育学部)
- 1915 桐生高等染織学校(現理工学部)
- 1943 前橋医学専門学校(現医学部)
- 1948 前橋医科大学
- 1949 群馬師範学校、群馬青年師範学校、前橋医科大学、桐生工業専門学校(現工学部)の諸学校を包括し、それぞれ学芸学部、医学部および工学部からなる群馬大学が開学
初代学長に西成甫就任
- 1951 学芸学部を附属小・中学校および幼稚園設置
- 1955 大学院医学研究科設置(現大学院医学系研究科)
- 1963 附属研究所として内分泌研究所設置(現生体調節研究所)
- 1964 大学院工学研究科設置(現大学院理工学府)
- 1966 学芸学部を教育学部に改組
- 1970 教育学部が荒牧キャンパスに移転
- 1979 教育学部に附属看護学校設置(現附属特別支援学校)
- 1981 教育学部に附属教育実践研究指導センター設置(現附属学校教育臨床総合センター)
- 1990 大学院教育学研究科設置
- 1993 社会情報学部設置
- 1996 医学部に保健学科設置
- 1998 大学院社会情報学研究科設置
- 1999 留学生センター設置(現国際センター)
- 2004 国立大学法人化
- 2005 総合情報メディアセンター設置
重粒子線医学研究センター設置
- 2007 太田キャンパス発足
- 2008 教職大学院設置
ケイ素科学国際教育研究センター設置
社会情報学研究センター設置
- 2010 重粒子線治療開始
- 2011 大学院保健学研究科設置
- 2013 工学部を理工学部に改組
大学院工学研究科を大学院理工学府に改組
多職種連携教育研究研修センター(WHO協力センター)設置
男女共同参画推進室設置
- 2014 未来先端研究機構設置
- 2015 元素科学国際教育研究センター設置
- 2016 次世代モビリティ社会実装研究センター設置
- 2017 数理データ科学教育研究センター設置
食健康科学教育研究センター設置
- 2020 教育学部を共同教育学部に改組
男女共同参画推進室をダイバーシティ推進センターに改組
- 2021 情報学部設置
理工学部を「2類」に改組
- 2022 学生受入センターをアドミッションセンターに改組

群馬へのアクセス

車の場合

- 練馬I.C～前橋I.C(関越自動車道)……約1時間10分
- 新潟I.C～前橋I.C(関越自動車道)……約2時間40分
- 長野I.C～前橋I.C(上信越自動車道)……約1時間40分
- 宇都宮I.C～前橋I.C(北関東自動車道)……約1時間30分

電車の場合

- 東京駅～高崎駅(JR上越・北陸新幹線)……約50分
- 新潟駅～高崎駅(JR上越新幹線)……約1時間10分
- 長野駅～高崎駅(JR北陸新幹線)……約40分

直通高速バスの場合

- 東京・池袋駅～前橋駅……約2時間30分
- 東京・新宿駅～前橋駅……約2時間30分
- 羽田空港/成田空港～前橋駅……約3時間30分



国立大学法人
群馬大学

パソコン・電話等で請求する

入試資料・学部案内の請求方法

大学に訪問して受領する

各資料は、「テレメール」や「モバっちょ」を利用して、パソコン、スマートフォンから請求できます。
群馬大学ホームページ【入試情報＞資料請求】で請求方法を御確認ください。

[<https://www.gunma-u.ac.jp/>]

請求できる資料、料金(送料・手数料)、料金お支払い方法等は請求方法によって異なりますので、御注意ください。
なお、群馬大学への郵送による請求は、受け付けておりません。

来学いただいた方には、次の場所で直接お渡しします。

- ①荒牧キャンパス
学生センター (平日 8:30 ~ 17:15)
守 衛 所 (平日 17:15 ~ 8:30、土日・祝休日)
【お問合せ】
学務部学生受入課 TEL 027-220-7150・7151・7152
- ②昭和キャンパス
学務課入学試験係窓口 (平日 8:30 ~ 17:15)
【お問合せ】
昭和地区事務部学務課 TEL 027-220-8909・8910
- ③桐生キャンパス
1号館 1階 (平日 8:30 ~ 17:15)
守 衛 所 (平日 17:15 ~ 8:30、土日・祝休日)
【お問合せ】
理工学部学務係 TEL 0277-30-1037

※群馬大学は、インターネット出願を導入しているため、紙の募集要項の発行はしていません。出願される際には、本学Webサイトに掲載される募集要項を確認してください。



群馬大学公式HP



Facebook



LINE



Instagram



Twitter



YouTube

入試に関するお問合せ **学務部学生受入課**

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 TEL : 027-220-7150・7151・7152 E-mail : g-admission@jimu.gunma-u.ac.jp

